

**「医薬品副作用被害救済制度に係る認知度調査」
<<医療関係者>>**

調査報告書

令和2年度調査分

■ 調査概要	P3
■ 対象者のプロフィール	P4
■ Summary	P5
■ 調査結果	P14
1 健康被害救済制度 認知率	P15
2 医薬品副作用被害救済制度 内容認知	P18
3 医薬品副作用被害救済制度 運営主体について	P22
4 医薬品副作用被害救済制度 認知経路	P23
5 医薬品副作用被害救済制度 教えてもらった人	P24
6 医薬品副作用被害救済制度 関わりについて	P25
7 医薬品副作用被害救済制度 給付請求時の支援部署の有無	P27
8 医薬品副作用被害救済制度 勧めたいか	P28
9 医薬品副作用被害救済制度 勧めたくない理由	P29
10 テレビCMの認知率	P30
11 テレビCMの評価	P31
12 救済制度紹介動画の認知率	P33
13 救済制度紹介動画の評価	P34
14 新聞広告の認知率	P36
15 新聞広告の評価	P37
16 院内ビジョン、薬局ビジョンの認知率	P39
17 院内ビジョン、薬局ビジョンの評価	P40
18 専門雑誌の広告の認知率	P42
19 専門雑誌の広告の評価	P43
20 救済制度特設サイトの認知率	P45
21 救済制度特設サイトの評価	P46
22 制度周知方法 <自由記述>	P48

- 調査目的 **医薬品副作用被害救済制度の浸透度を把握し、今後の基礎資料とする**
- 調査対象 **次の職業に就いている者： 医師・薬剤師・看護師・歯科医師**
- 調査地域 **全国**
- 調査方法 **インターネット調査**
- 調査時期 **令和2年度調査 令和2年12月21日（月）～令和2年12月24日（木）
令和元年度調査 令和元年12月17日（火）～令和元年12月21日（土）**
- 有効回答数 **令和2年度調査 2,118サンプル／令和元年度調査 1,855サンプル**

		令和2年	令和元年
医療関係者別	医師計	613	530
	病院勤務20床以上	313	265
	診療所勤務20床未満	300	265
	薬剤師計	584	530
	病院・診療所勤務	290	265
	薬局勤務	294	265
	看護師計	640	530
	病院勤務20床以上	363	265
	診療所勤務20床未満	277	265
	歯科医師計	281	265
全体	2,118	1,855	

報告書内の記述について

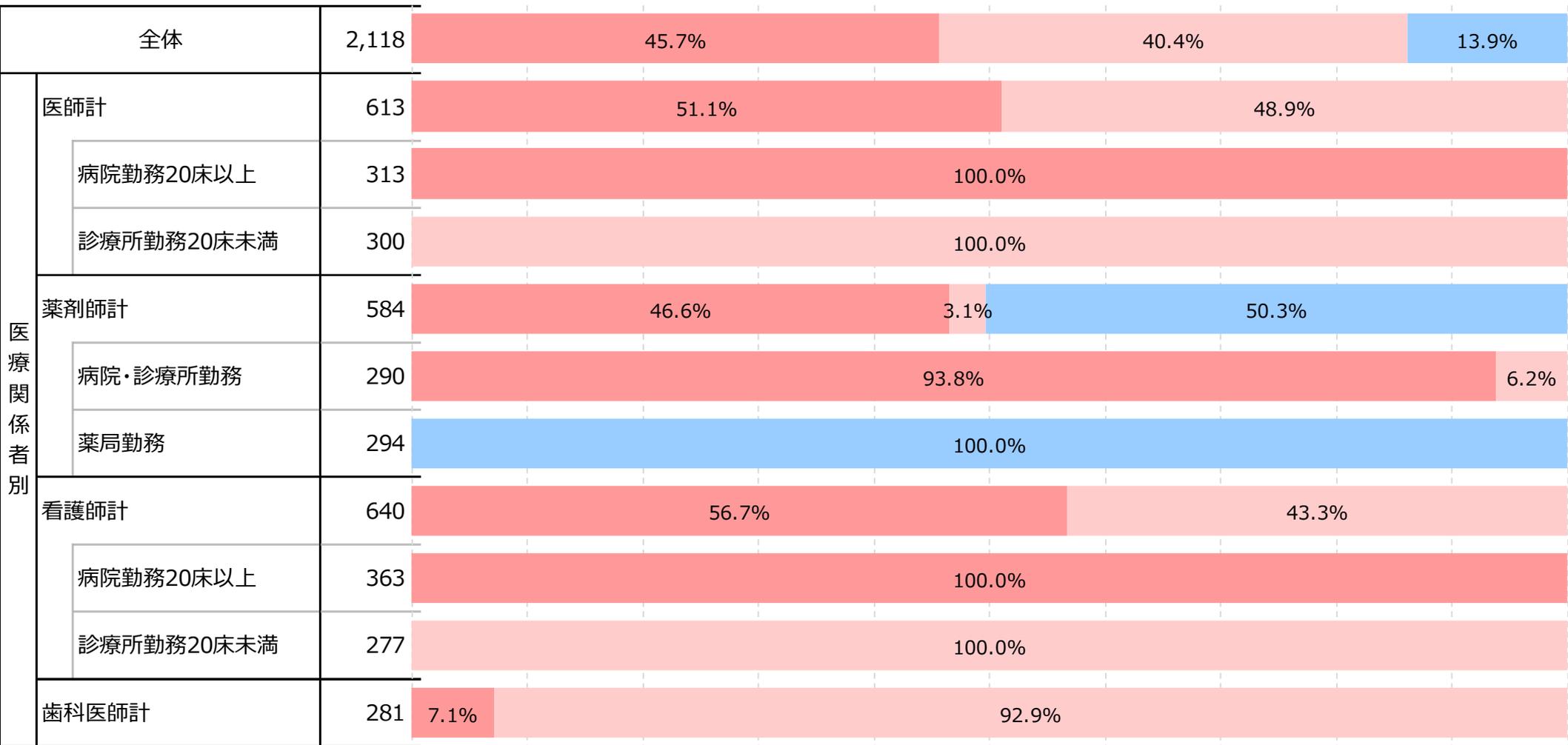
※n=30未満は参考値として記載

- 調査実施機関 **GMC株式会社**

【勤務先施設】

■ 病院（ベッド数20床以上） ■ 診療所（歯科診療所含む）※ 医院・診療所・クリニック・大学附属クリニック ■ 薬局

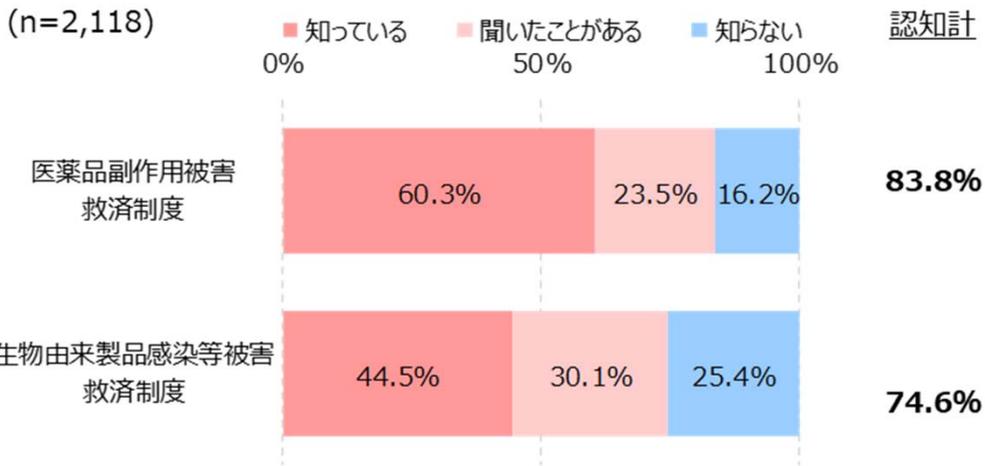
n= 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



Summary

- 「医薬品副作用被害救済制度」の認知率（知っている+聞いたことがある）は84%。「生物由来製品感染等被害救済制度」の認知率は75%。
- 運営主体は、医薬品副作用被害救済制度認知者の38%が「医薬品医療機器総合機構(PMDA)」と回答。「厚生労働省」が20%。
- 「医薬品副作用被害救済制度」の内容の認知率を見ると、「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」、「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」の2項目は87%であり、非常に高い。

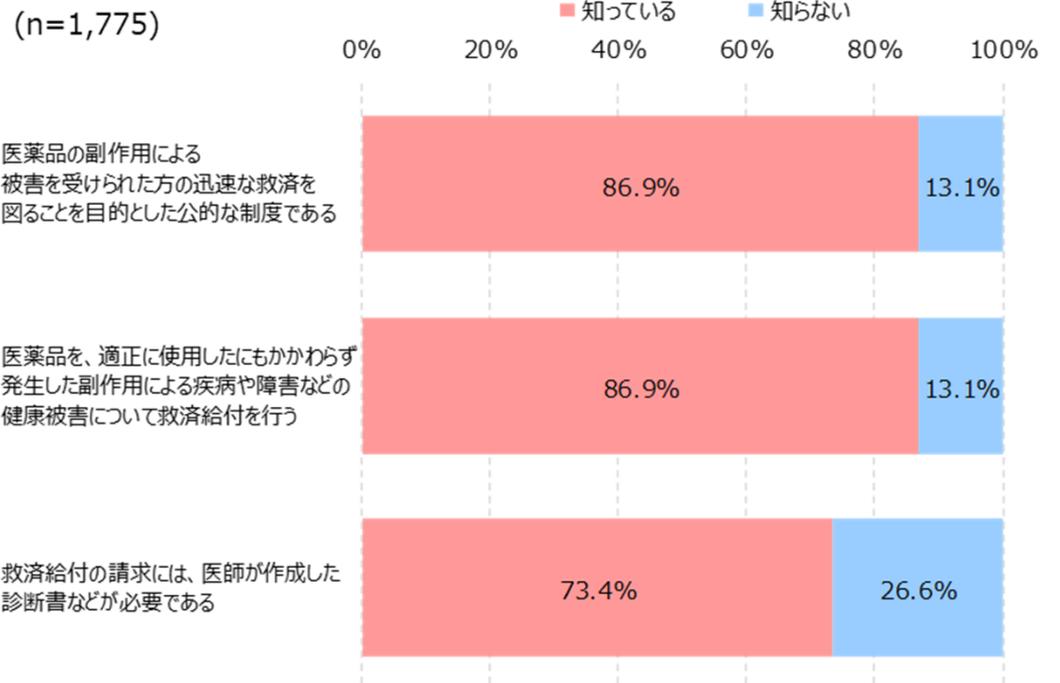
【健康被害救済制度 認知率】 (Q6,Q7) 単一回答



※認知計：「知っている」+「聞いたことがある」

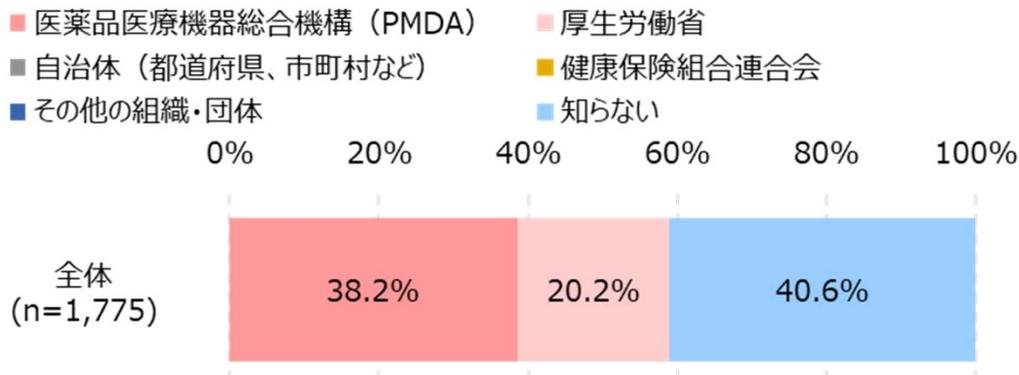
【医薬品副作用被害救済制度 内容認知】 (Q8) 単一回答

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース



【医薬品副作用被害救済制度 運営主体について】 (Q9) 単一回答

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース



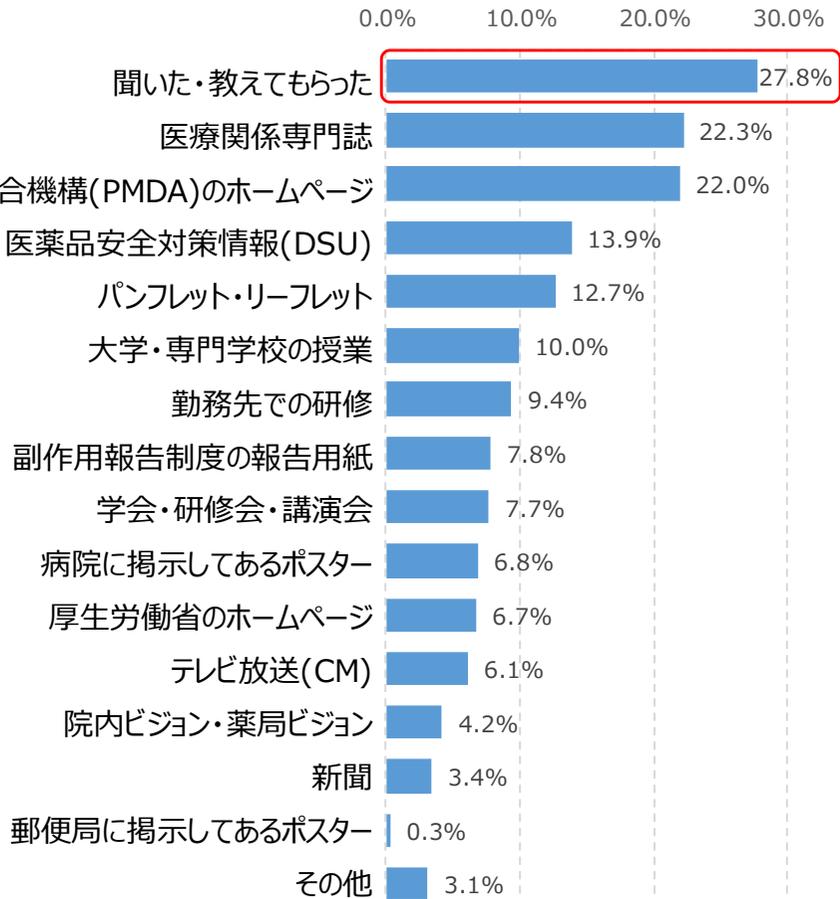
- 「医薬品副作用被害救済制度」をどのようにして知りましたかについて、「聞いた・教えてもらった」28%、「医療関係専門誌」「医薬品医療機器総合機構(PMDA)のホームページ」、が共に22%。
- 「医薬品副作用被害救済制度」について誰から教わりましたかについて、「医師」38%、「薬剤師」26%、「看護師」19%。

【医薬品副作用被害救済制度の認知経路】(Q5) 複数回答

複数回答

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

(n=1,775)



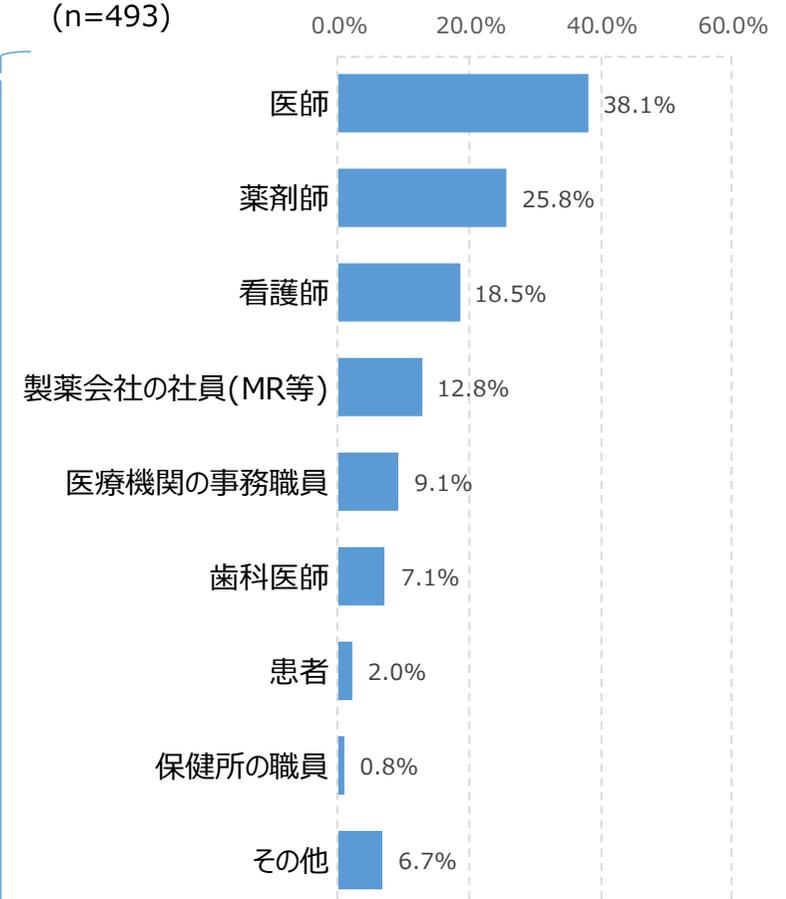
※「全体」のスコアで降順ソート

【医薬品副作用被害救済制度 教えてもらった人】(Q6) 複数回答

複数回答

※制度認知情報源について、「聞いた・教えてもらった」と回答した人ベース

(n=493)

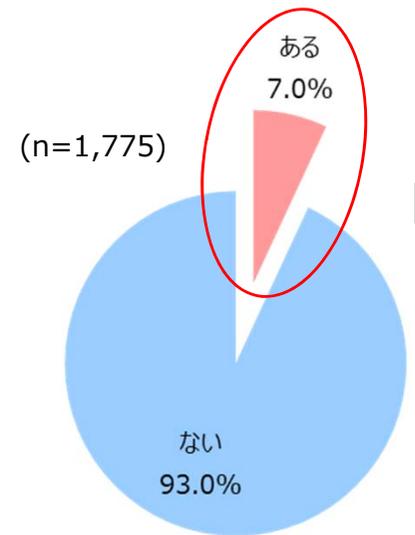


※「全体」のスコアで降順ソート

- 「医薬品副作用被害救済制度」の請求への関わりについて、7%が「ある」と回答。「ない」は93%。
- 「医薬品副作用被害救済制度」の請求内容の主な内容は、「診断書・投薬証明書等の作成」47%、「制度の紹介」43%、「具体的な請求手続きの案内」38%。
- 「医薬品副作用被害救済制度」の請求支援部署の有無については、「ある」が13%、「ない」は87%

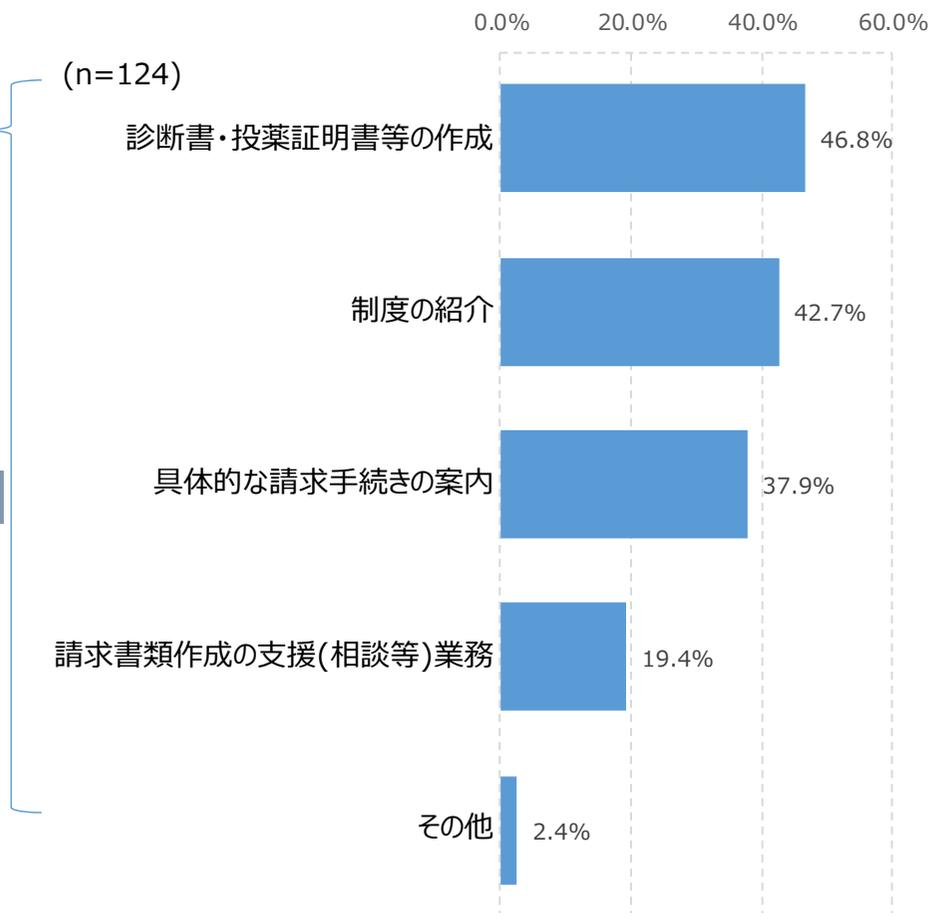
【医薬品副作用被害救済制度 関わりについて】 (Q12) 単一回答

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース



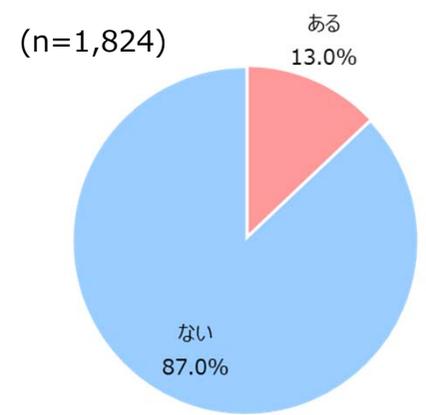
【関わった内容】 (Q13) 複数回答

※請求への関わりについて、「ある」と回答した人ベース



【医薬品副作用被害救済制度 給付請求時の支援部署の有無】 (Q14) 単一回答

※病院・診療所勤務者ベース



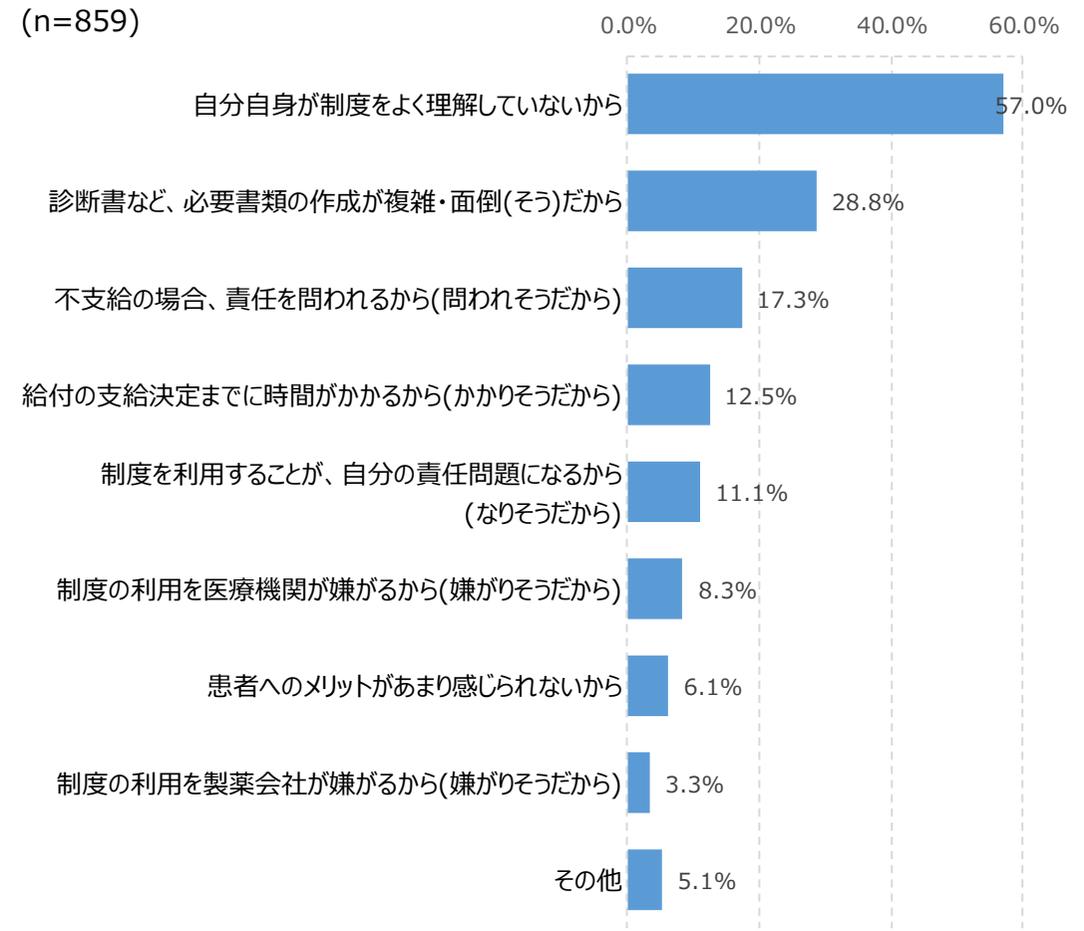
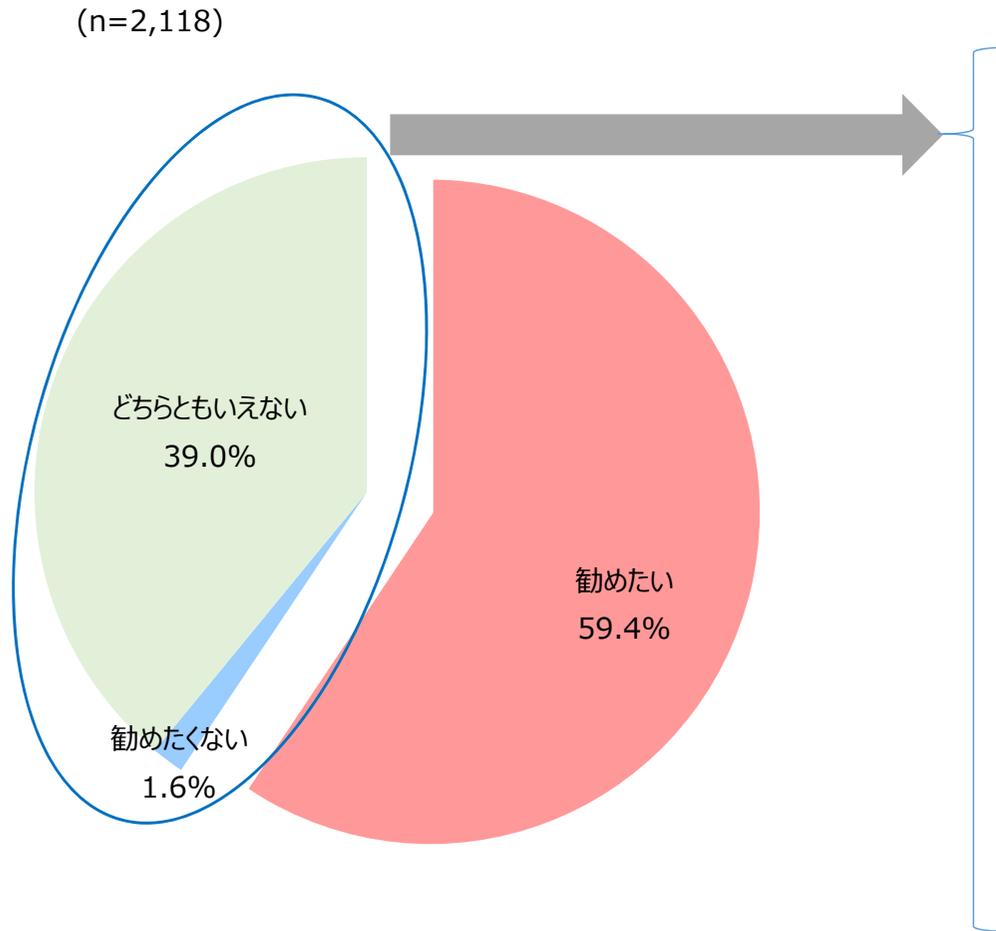
※「全体」のスコアで降順ソート

- 「医薬品副作用被害救済制度」を患者に勧めたいかについて、59%が「勧めたい」と回答。「勧めたくない」は2%。
- 「医薬品副作用被害救済制度」を患者に勧めたいと思わない主な理由は、「自分自身が制度をよく理解していないから」57%、「診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから」29%、「不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）」17%。

【医薬品副作用被害救済制度を勧めたいか】 (Q15) 単一回答

【医薬品副作用被害救済制度 勧めたくない理由】 (Q16) 複数回答

※「医薬品副作用被害救済制度」を「勧めたくない」「どちらともいえない」と回答した人ベース



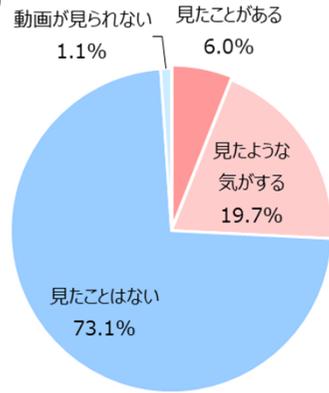
※「全体」のスコアで降順ソート

- テレビCMの認知率（見たことがある + 見たような気がする）は26%。
- 救済制度紹介動画の認知率（見たことがある + 見たような気がする）は10%。
- 新聞広告の認知率（見たことがある + 見たような気がする）は27%。

【テレビCM 認知率】 (Q17)

単一回答

(n=2,118)

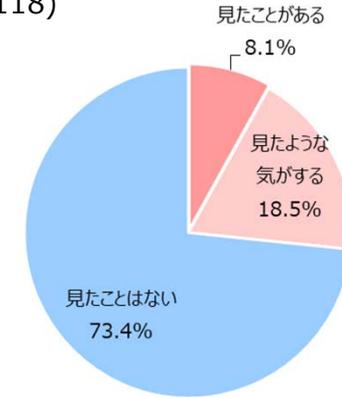


見たことがある + 見たような気がする 計 25.8%

【新聞広告 認知率】 (Q21)

単一回答

(n=2,118)

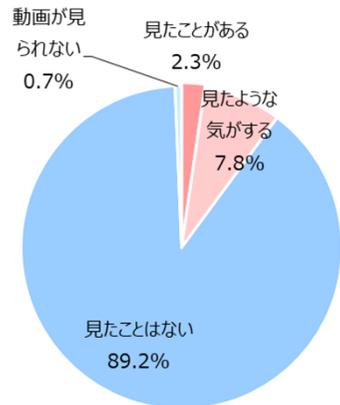


見たことがある + 見たような気がする 計 26.6%

【救済制度紹介動画 認知率】 (Q19)

単一回答

(n=2,118)



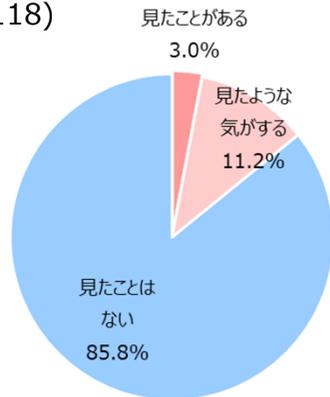
見たことがある + 見たような気がする 計 10.1%

- 院内ビジョン、薬局ビジョンの認知率（見たことがある＋見たような気がする）は14%。
- 専門雑誌の認知率（見たことがある＋見たような気がする）は38%。
- 救済制度特設サイトの認知率（見たことがある＋見たような気がする）は21%。

【院内ビジョン、薬局ビジョンCM 認知率】 (Q23)

単一回答

(n=2,118)

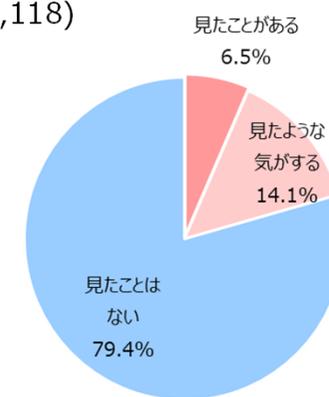


見たことがある＋見たような気がする 計 14.2%

【救済制度特設サイト 認知率】 (Q27)

単一回答

(n=2,118)

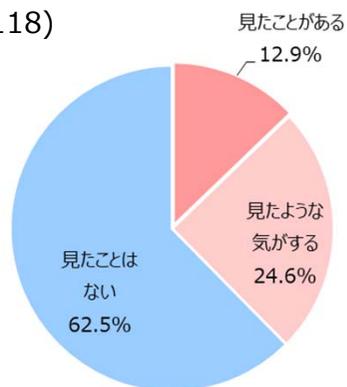


見たことがある＋見たような気がする 計 20.6%

【専門雑誌の広告 認知率】 (Q25)

単一回答

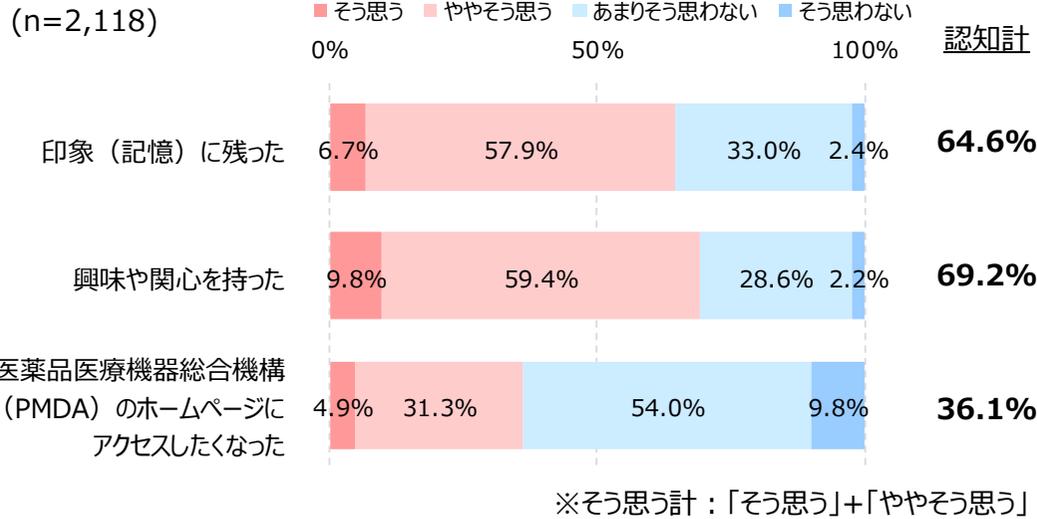
(n=2,118)



見たことがある＋見たような気がする 計 37.5%

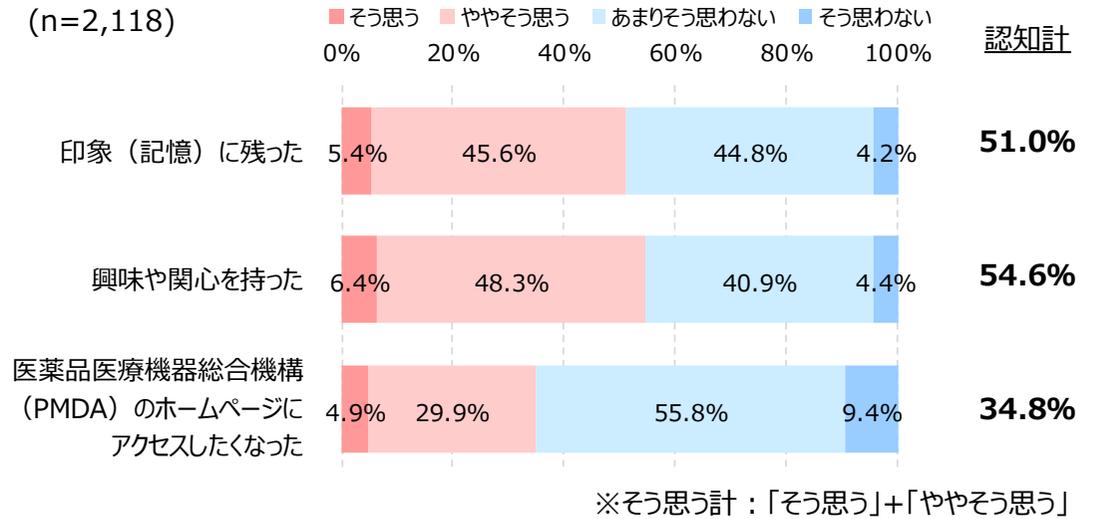
【テレビCMの評価】 (Q18)

単一回答



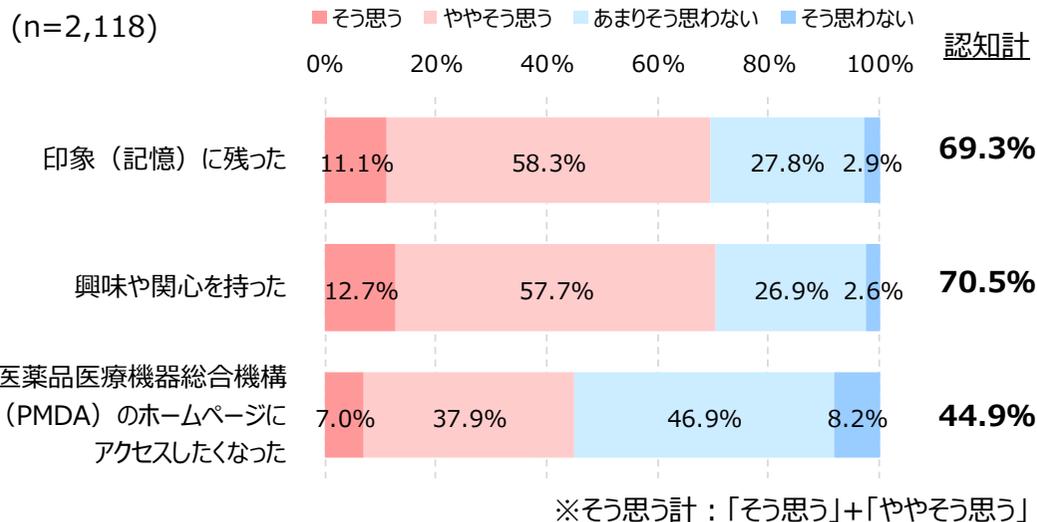
【新聞広告の評価】 (Q22)

単一回答



【救済制度紹介動画の評価】 (Q20)

単一回答

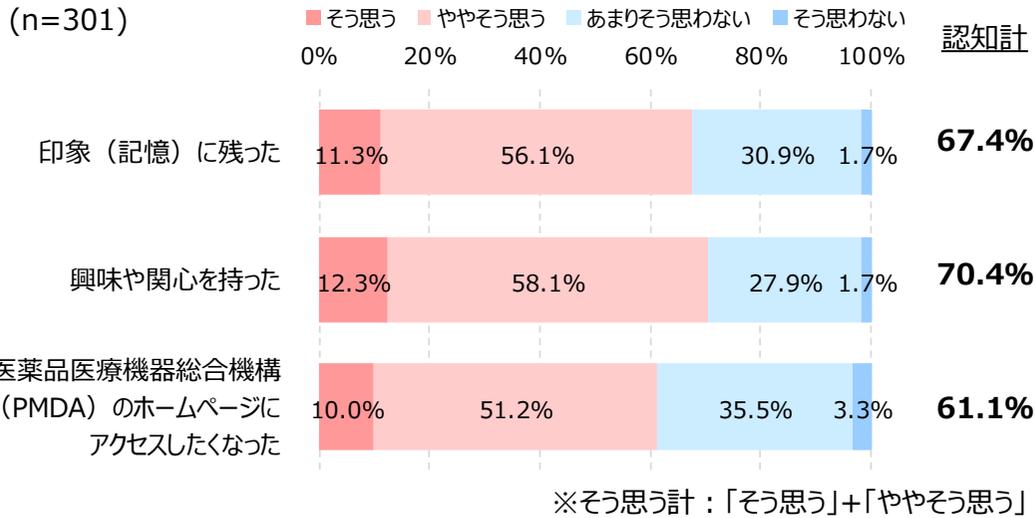


- テレビCMの評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」69%で、「印象（記憶）に残った」65%も同程度、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」は36%。
- 救済制度紹介動画の評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」が71%、「印象（記憶）に残った」69%も同程度、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」は45%。
- 新聞広告の評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」55%で、「印象（記憶）に残った」51%も同程度、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」は35%。

【院内ビジョン、薬局ビジョンのCM評価】 (Q24)

単一回答

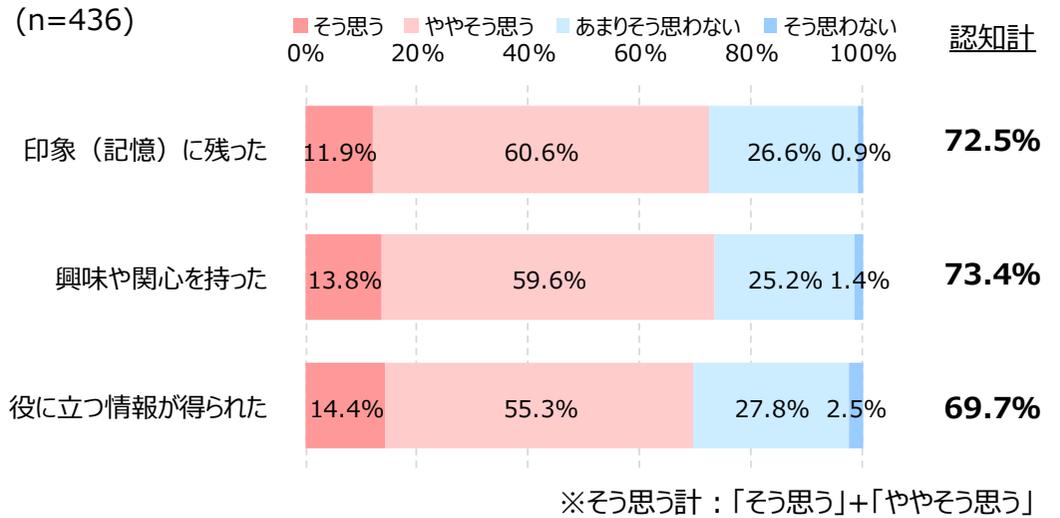
※院内ビジョン、薬局ビジョンのCM認知者ベース



【救済制度特設サイトの評価】 (Q28)

単一回答

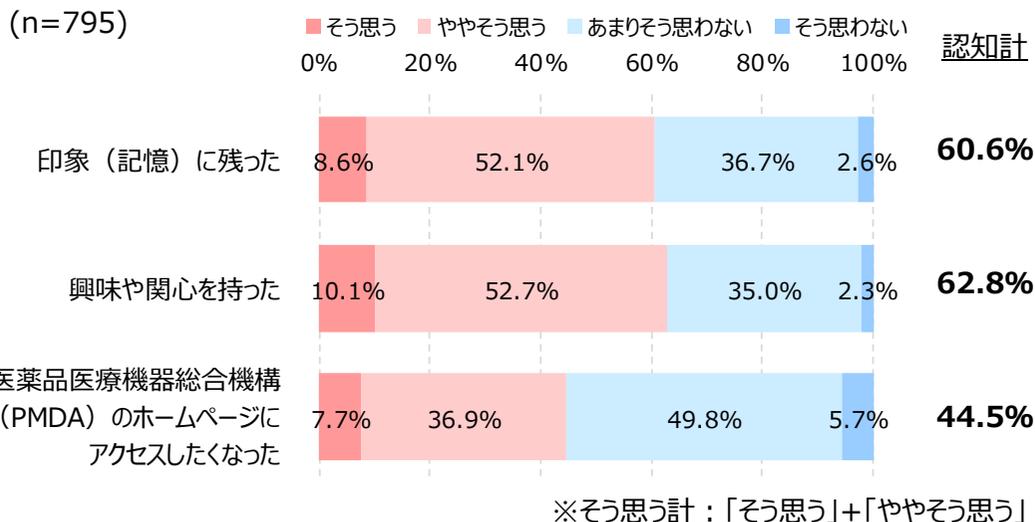
※「救済制度特設サイト」認知者ベース



【専門雑誌の広告の評価】 (Q26)

単一回答

※専門雑誌の広告認知者ベース



- 院内ビジョン、薬局ビジョンのCM評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」70%で、「印象（記憶）に残った」も67%と同程度、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」は61%。
- 専門雑誌の評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」63%で、「印象（記憶）に残った」も61%と同程度、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」は45%。
- 救済制度特設サイトの評価（そう思う+ややそう思う）で最も高かった項目は「興味や関心を持った」、「印象（記憶）に残った」が共に73%。「役に立つ情報が得られた」も70%と同程度。

調查結果

R2/R1 Q6/Q1. あなたは、副作用が起きたときに、医療費等の救済給付を行う公的な「医薬品副作用被害救済制度」があることをご存じですか。

R2/R1 Q7/Q2. あなたは、輸血用血液製剤などを介して感染などが発生した場合に、医療費等の救済給付を行う公的な「生物由来製品感染等被害救済制度」があることをご存じですか。

- 「医薬品副作用被害救済制度」の認知率（知っている+聞いたことがある）は84%。「知っている」が半数以上を占めた。
- 「生物由来製品感染等被害救済制度」の認知率は75%で、R1と同様に「医薬品副作用被害救済制度」よりも低い結果となっている。
- 「医薬品副作用被害救済制度」の認知率はR1からほぼ横ばいに対し、「生物由来製品感染等被害救済制度」の認知率は上昇している。

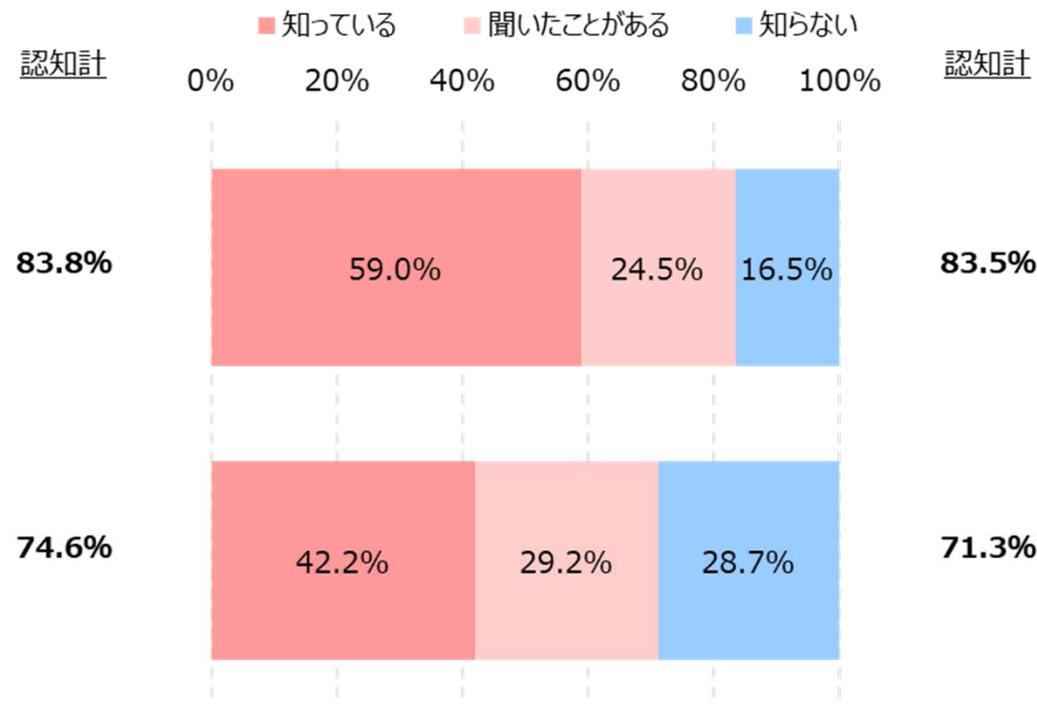
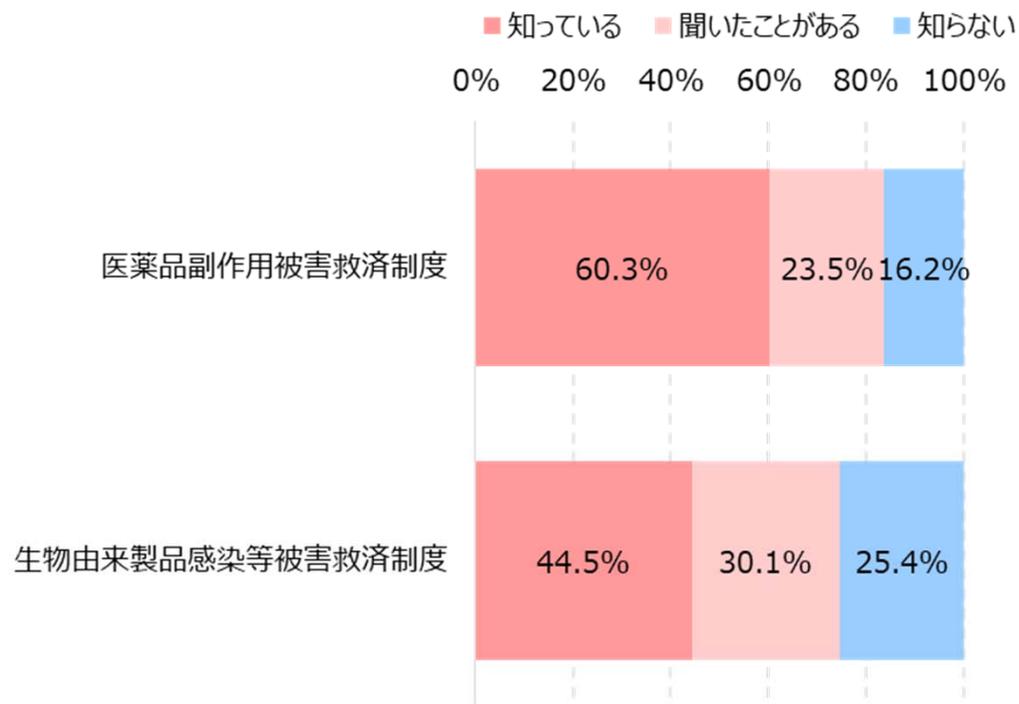
単一回答

令和2年度調査

(n=2,118)

令和元年度調査

(n=1,855)



※認知計：「知っている」+「聞いたことがある」

R2/R1 Q6/Q1. あなたは、副作用が起きたときに、医療費等の救済給付を行う公的な「医薬品副作用被害救済制度」があることをご存じですか。

- ・ 医師における認知率（知っている＋聞いたことがある）は94%と高い。R1と同様、診療所勤務の医師のほうが「知っている」の回答が病院勤務の医師を若干上回っている。
- ・ 薬剤師における認知率は99%にも達する。特に病院・診療所勤務の認知率がR1から大幅に上昇している。
- ・ 看護師の認知率は62%でR1から1pt減少しており、職種別でも最も低い。R1から診療所勤務では上昇している。
- ・ 歯科医師の認知率は80%であり、R1との比較では微減。

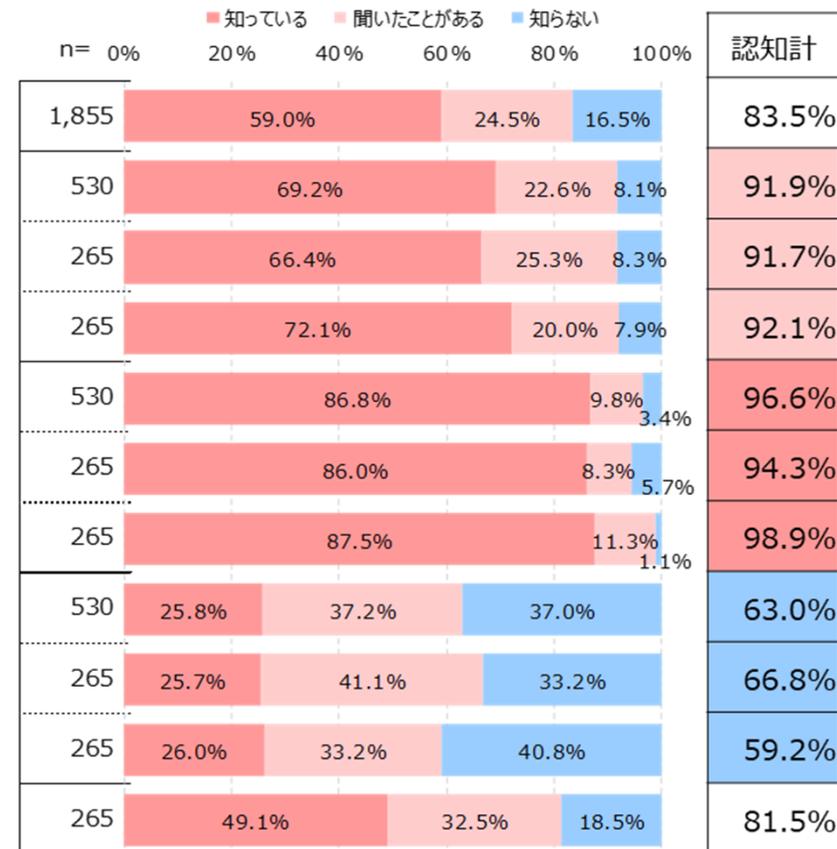
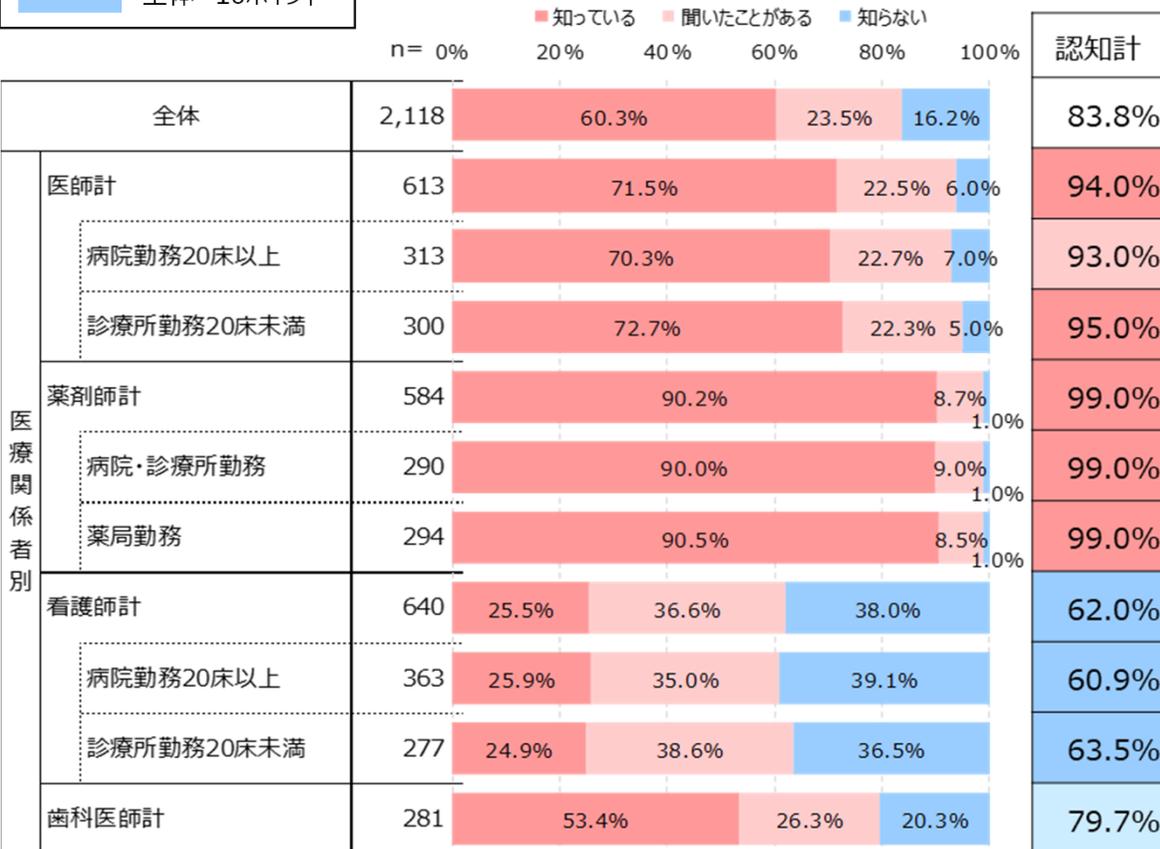
n=30以上の場合



令和2年度調査

令和元年度調査

単一回答



※認知計：「知っている」+「聞いたことがある」

1 健康被害救済制度 – 生物由来製品感染等被害救済制度 認知率

R2/R1 Q7/Q2.あなたは、輸血用血液製剤などを介して感染などが発生した場合に、医療費等の救済給付を行う公的な「生物由来製品感染等被害救済制度」があることをご存じですか。

- 医師の認知率（知っている＋聞いたことがある）は83%で、病院勤務の医師のほうが診療所勤務の医師の認知率を若干上回っている。
- 薬剤師の認知率は86%で、医師よりも高い。R1と同様、病院・診療所勤務のほうが、薬局勤務よりも認知率が高い。
- 看護師の認知率は59%、歯科医師の認知率は68%で、どちらもR1と比較して認知率は上昇している。

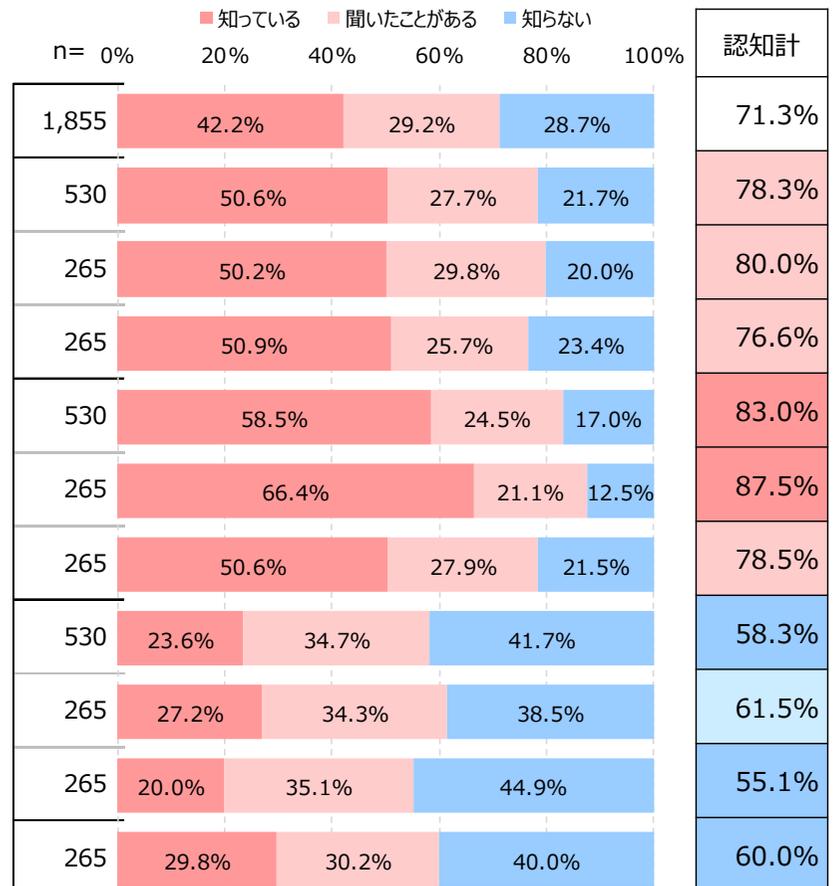
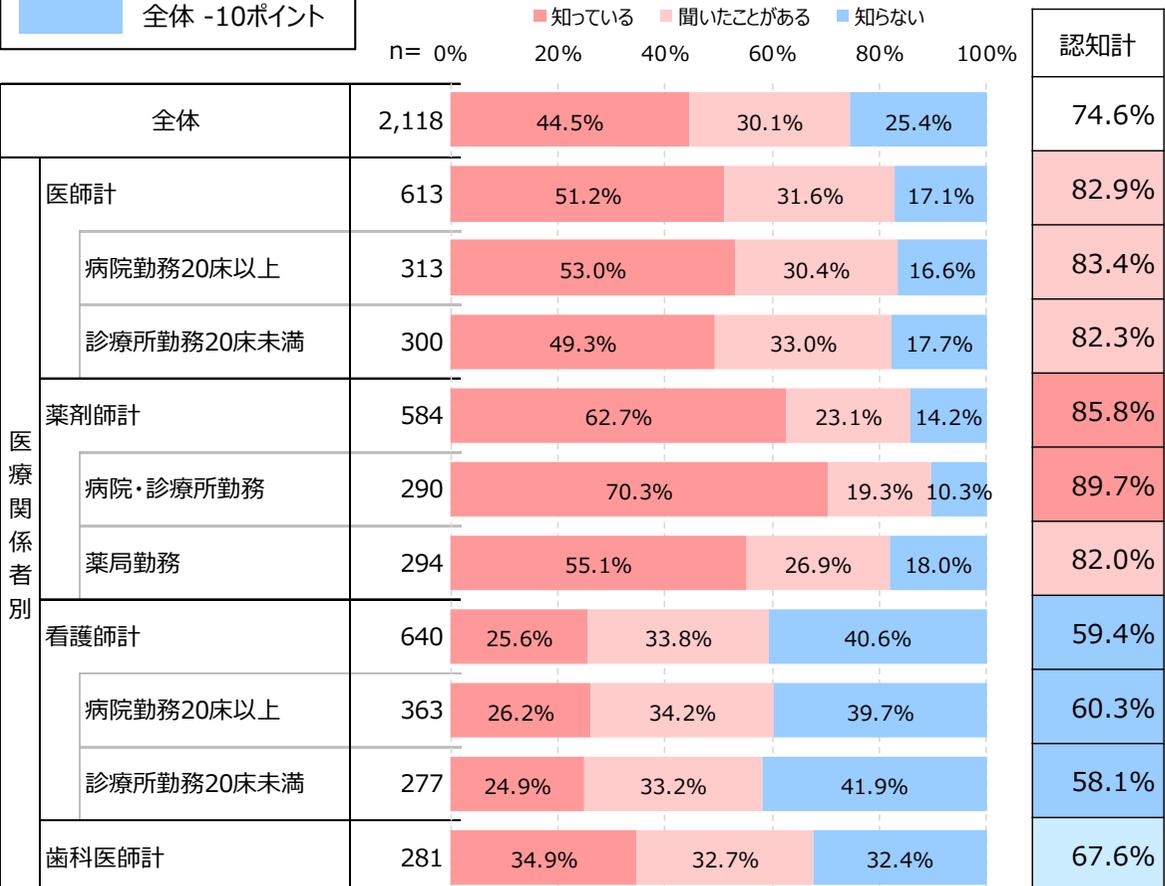
n=30以上の場合



単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



※認知計：「知っている」+「聞いたことがある」

R2/R1 Q8/Q3. 「医薬品副作用被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

・「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」はR1と比較し1%上昇。「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」は変化なし。「救済給付の請求には、医師が作成した診断書などが必要である」の項目は2pt減少。

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

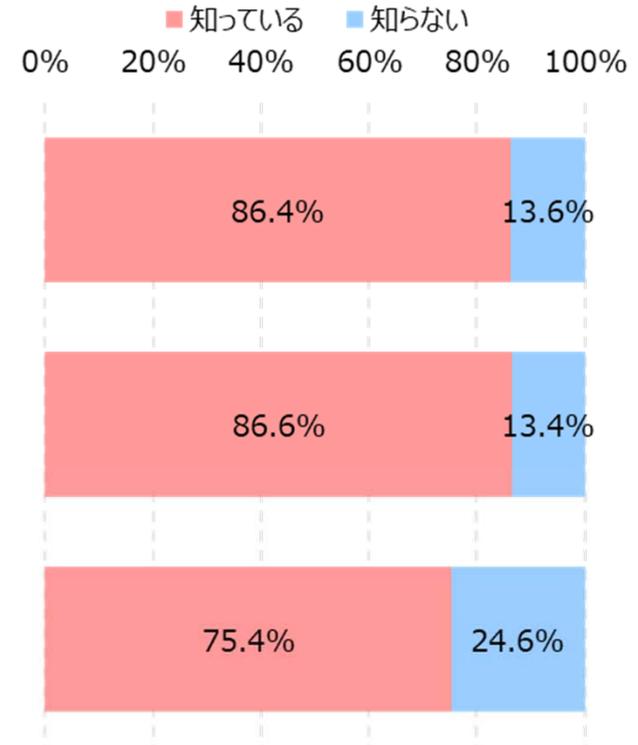
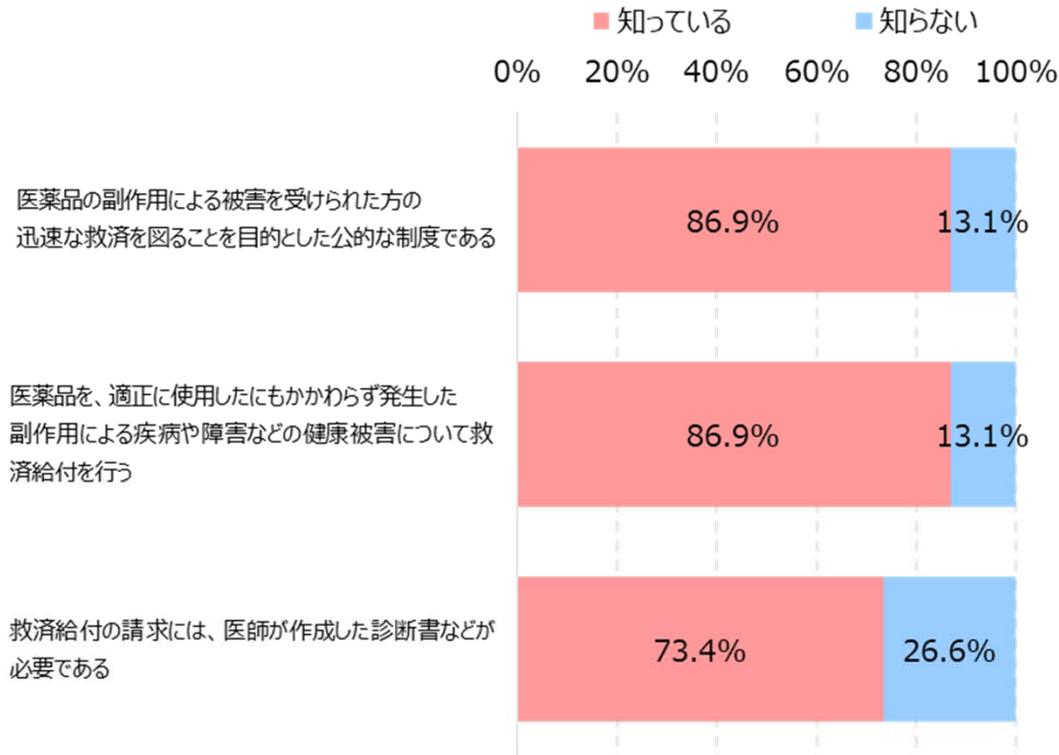
単一回答

令和2年度調査

(n=2,118)

令和元年度調査

(n=1,855)



2 医薬品副作用被害救済制度 内容認知（その1）

R2/R1 Q8/Q3.「医薬品副作用被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

- ・認知率（知っている）は高い順に薬剤師95%、医師92%、歯科医師80%、看護師72%である。
- ・医師の認知がR1と比較して上昇し、歯科医師の認知率が減少している。

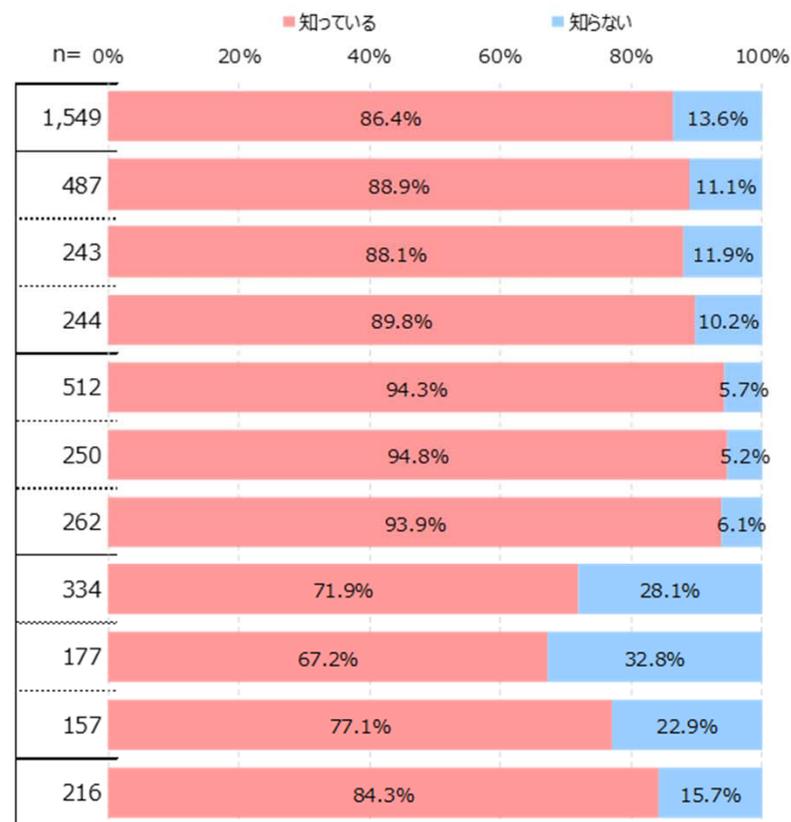
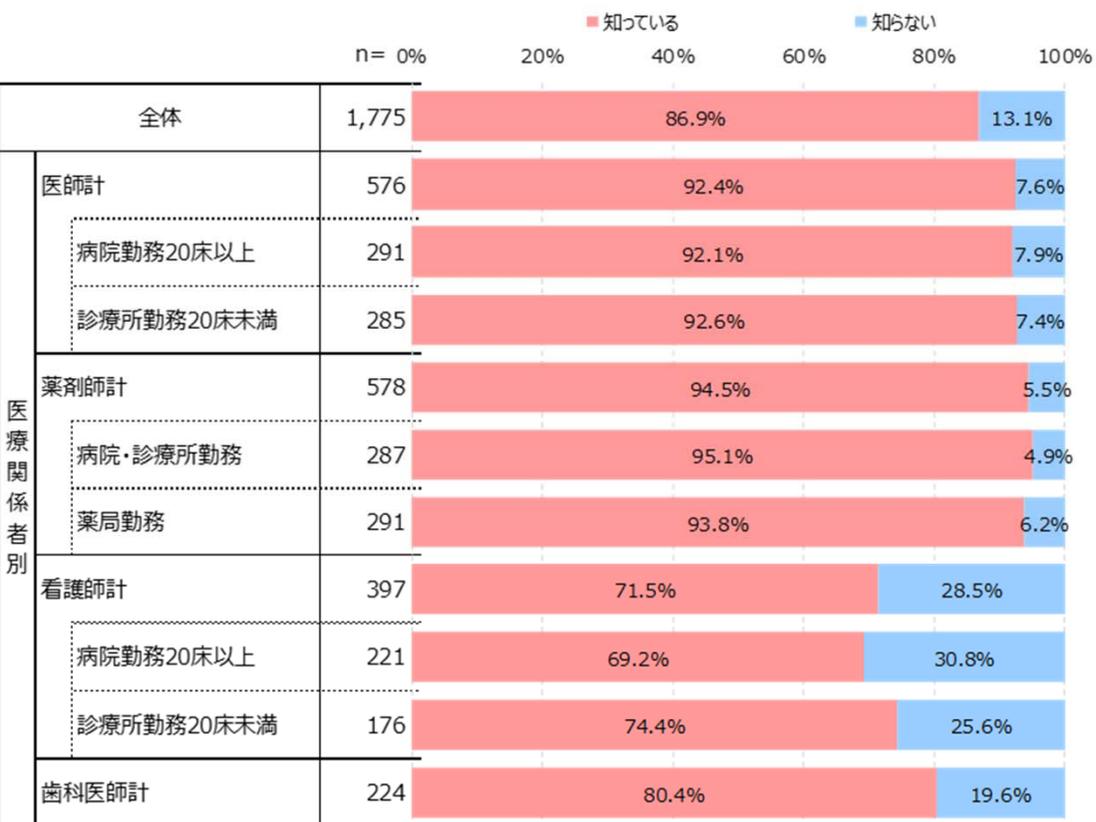
※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

【医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である】

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



R2/R1 Q8/Q3. 「医薬品副作用被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

- 認知率（知っている）は高い順に薬剤師96%、医師90%、歯科医師82%、看護師72%。
- R1と比較して看護師が1pt上昇し、歯科医師が1pt減少している。

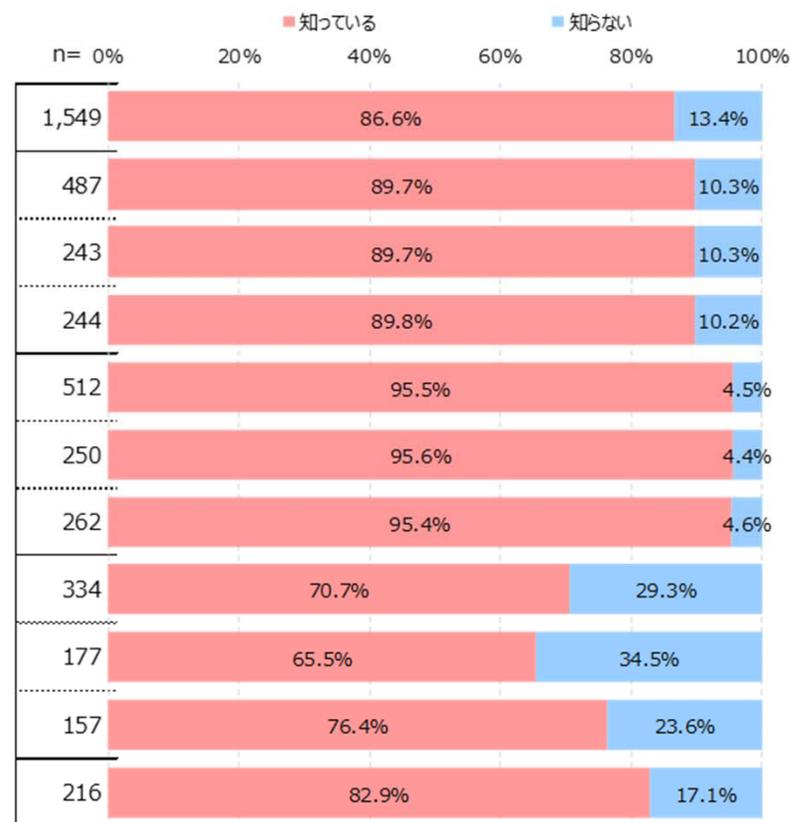
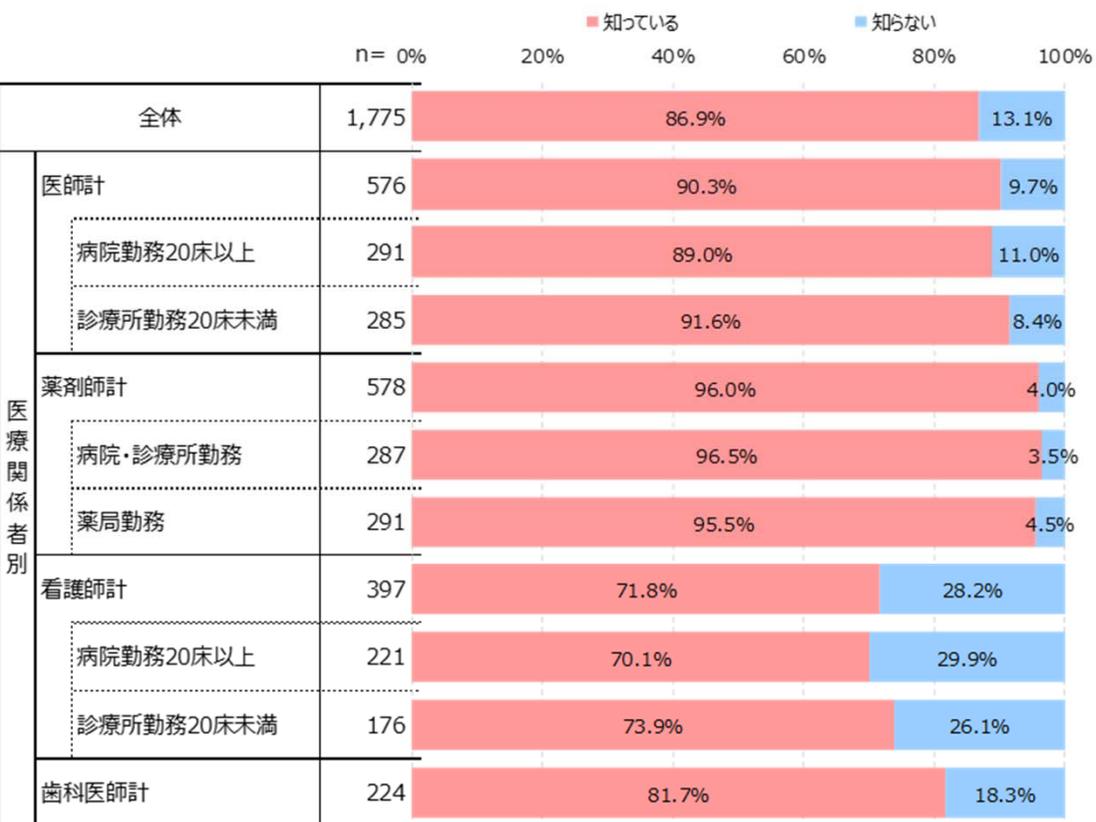
※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

【医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う】

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



R2/R1 Q8/Q3. 「医薬品副作用被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

- 認知率（知っている）は高い順に薬剤師79%、医師75%、歯科医師73%、看護師63%である。
- 看護師、歯科医師では、R1と比較して上昇しているが、医師（特に診療所勤務）が大幅に減少している。

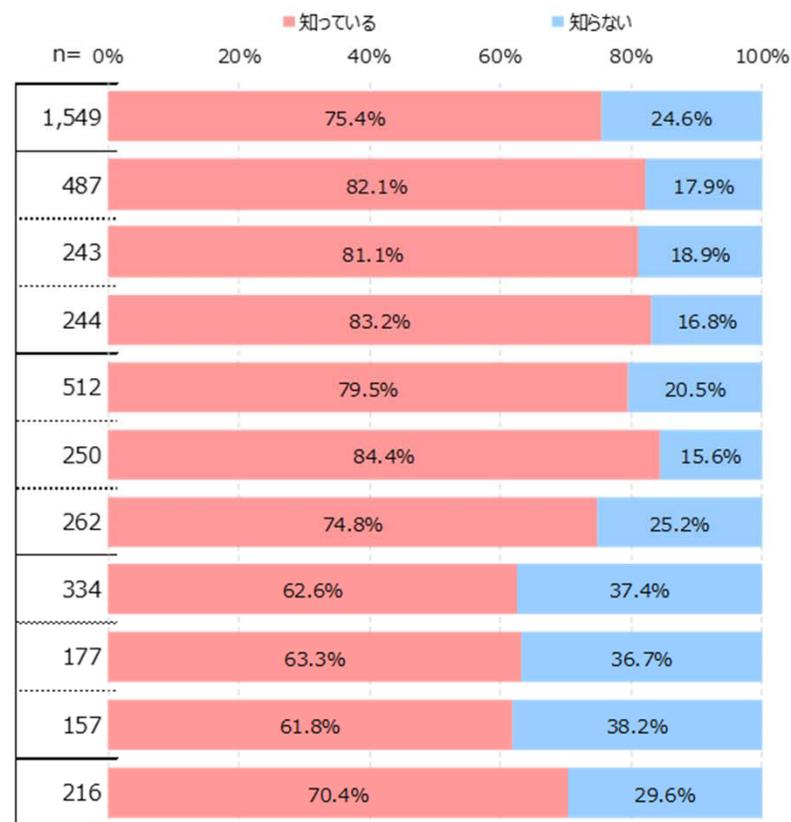
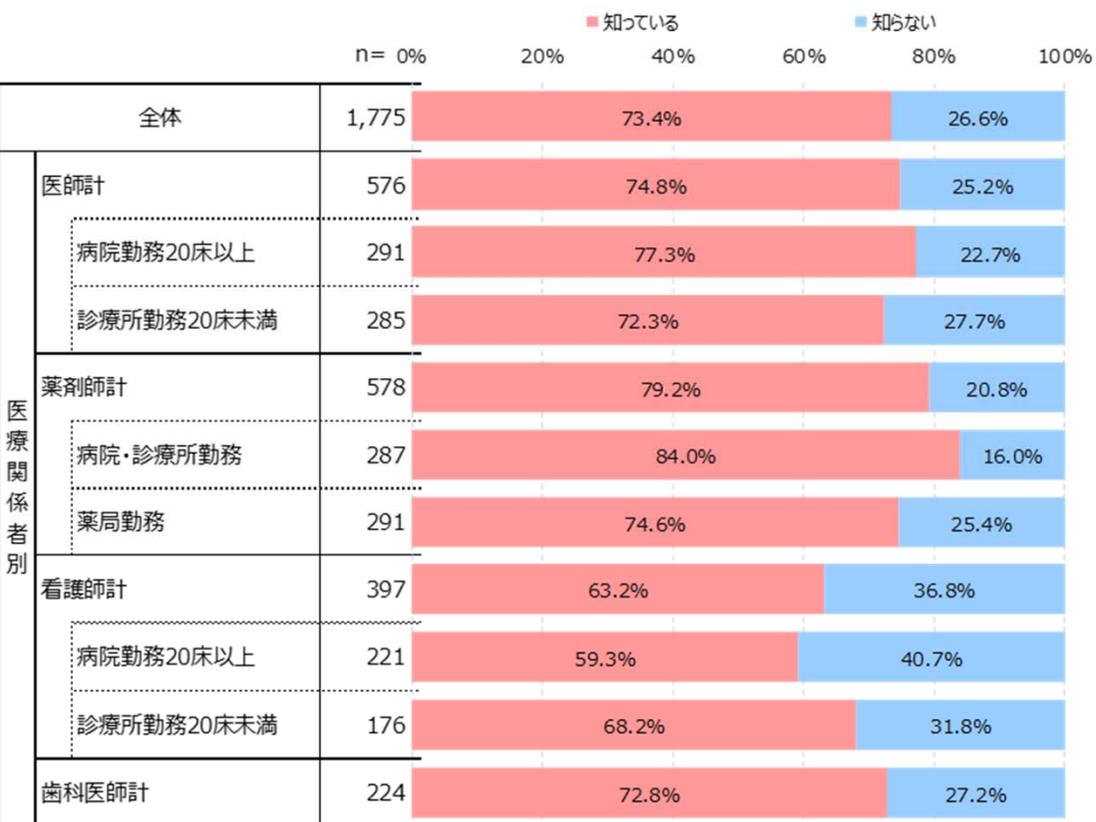
※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

【救済給付の請求には、医師が作成した診断書などが必要である】

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



R2/R1 Q9/Q4.あなたは、「医薬品副作用被害救済制度」の運営主体をご存じですか。あてはまるものをひとつお選びください。

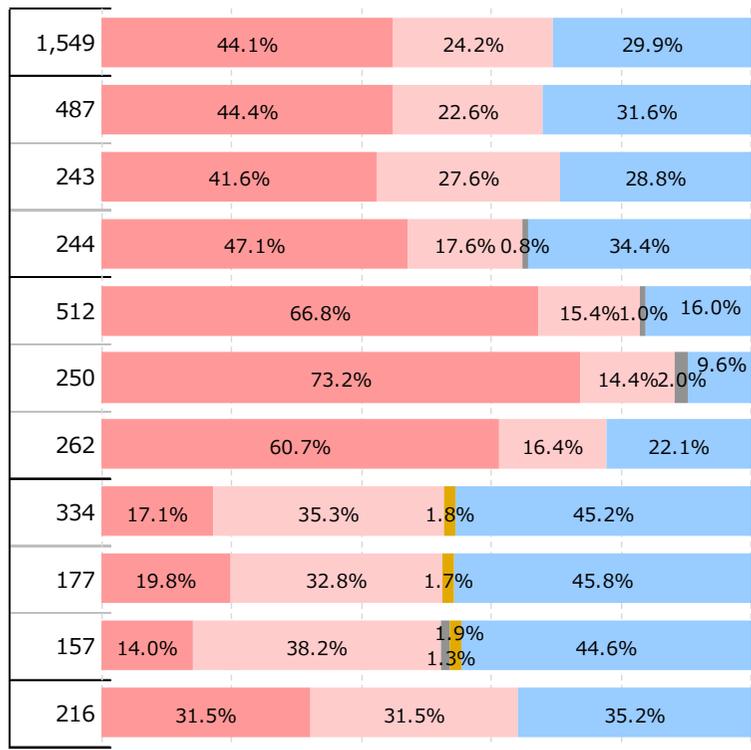
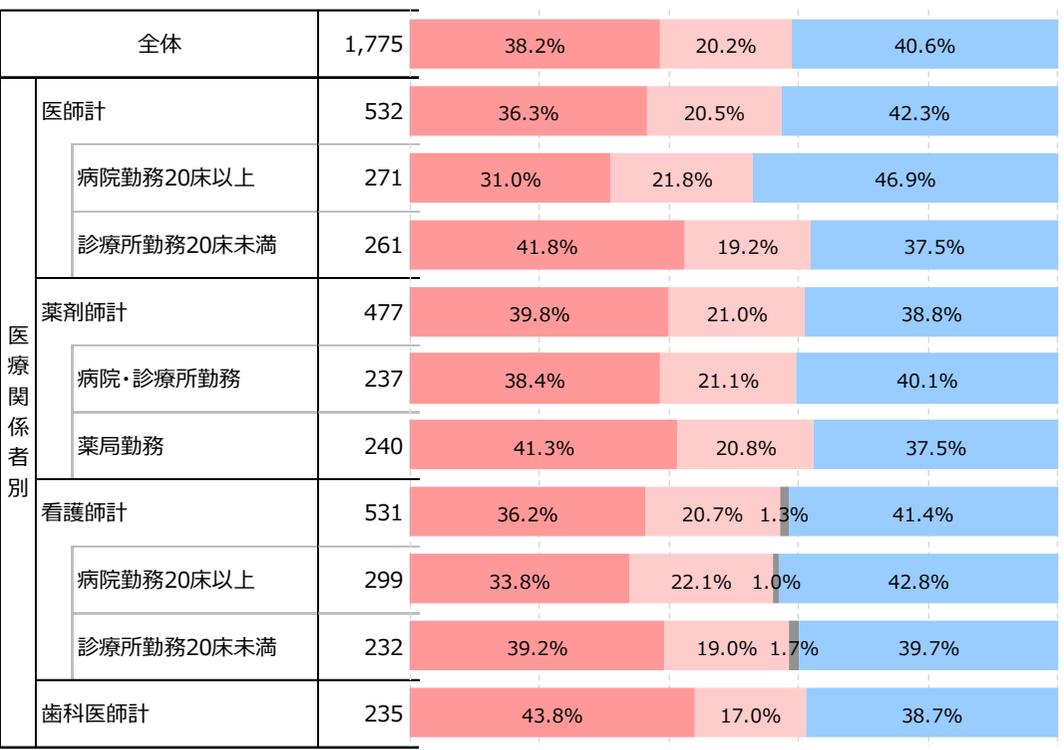
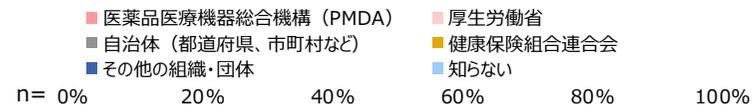
・医薬品副作用被害救済制度認知者に運営主体について尋ね、「医薬品医療機器総合機構（PMDA）」と正しく回答できたのは38%。
 【医療関係者別】
 ・病院・診療所勤務の歯科医師で正答率44%、続いて診療所勤務の医師42%、薬局勤務の薬剤師41%の順であった。
 ・R1と比較し、看護師、歯科医師の正答率は上昇したものの、医師、薬剤師では低下。

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



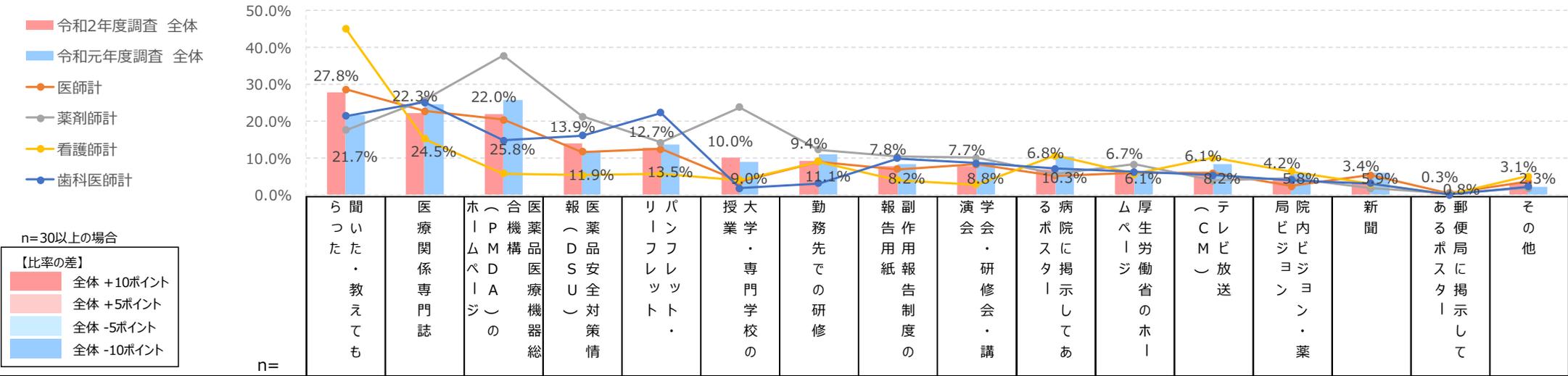
4 医薬品副作用被害救済制度 認知経路

R2/R1 Q10/Q5.あなたは「医薬品副作用被害救済制度」をどのようにして（何から）知りましたか。または、どのようにして（何から）聞きましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 認知経路は、「聞いた・教えてもらった」28%、「医療関係専門誌」、「PMDAのホームページ」が共に22%の順で多かった。「聞いた・教えてもらった」は、R1と比べ6pt上昇している。
- 【医療関係者別】
 - 薬剤師は「PMDAのホームページ」「大学・専門学校の授業」、看護師は「聞いた・教えてもらった」が全体と比べて10pt以上高かった。歯科医師は「パンフレット・リーフレット」が全体と比べて10pt程度高かった。

複数回答

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース



調査年度	認知経路	令和2年度調査 全体	令和元年度調査 全体	医師計	薬剤師計	看護師計	歯科医師計
令和2年度調査 全体	聞いた・教えてもらった	27.8%	21.7%	28.6%	17.5%	45.1%	21.4%
	医療関係専門誌	22.3%	24.5%	22.7%	25.6%	15.1%	25.0%
	ホームページ	22.0%	25.8%	20.3%	37.7%	5.8%	14.7%
	医薬品医療機器総合機構の	13.9%	11.9%	11.6%	21.3%	5.3%	16.1%
	医薬品安全対策情報	12.7%	13.5%	12.3%	14.2%	5.5%	22.3%
	大学・専門学校の授業	10.0%	9.0%	3.5%	23.7%	4.0%	1.8%
	勤務先での研修	9.4%	11.1%	9.0%	12.3%	9.1%	3.1%
	報告用紙報告制度の	7.8%	8.2%	6.9%	10.4%	4.0%	9.8%
	学会・研修会・講演	7.7%	8.8%	8.3%	10.0%	2.8%	8.5%
	病院内に掲示してある	6.8%	10.3%	5.2%	5.7%	10.6%	7.1%
	厚生労働省のホームページ	6.7%	6.1%	6.1%	8.3%	5.5%	6.3%
	テレビ放送	6.1%	8.2%	5.9%	3.8%	10.1%	5.4%
	院内ビジョン	4.2%	5.8%	2.4%	4.5%	6.3%	4.0%
	新聞	3.4%	5.9%	5.4%	1.7%	3.0%	3.1%
	郵便局に貼示して	0.3%	0.8%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%
	その他	3.1%	2.3%	3.5%	1.7%	5.0%	2.2%
	令和元年度調査 全体		21.7%	24.5%	21.7%	17.5%	45.1%

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

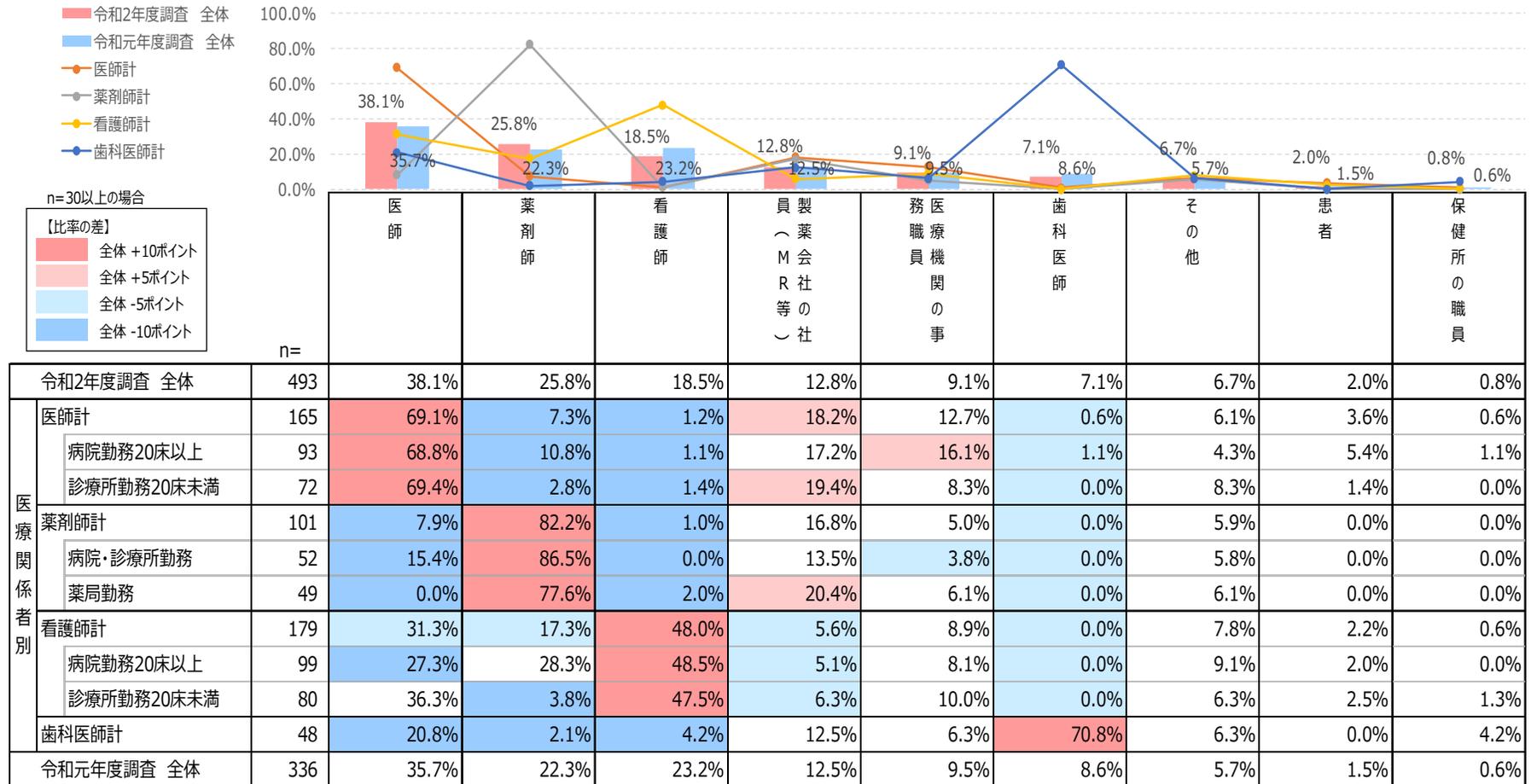
5 医薬品副作用被害救済制度 教えてもらった人

R2/R1 Q11/Q6.あなたは「医薬品副作用被害救済制度」について、誰から知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 「人から聞いた／教えてもらった」という全回答の中で、38%が「医師」からと回答しておりR1から2pt上昇。「薬剤師」も4pt上昇しているが、逆に「看護師」は4pt低下している。
- 【医療関係者別】
 - 同一職種間のクチコミが圧倒的に高くなっている。

※制度認知者かつ認知経路で「聞いた・教えてもらった」回答者ベース

複数回答



※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q12/Q7.あなたは、これまで「医薬品副作用被害救済制度」の請求に関わったこと（制度の紹介、診断書、投薬証明書の作成など）がありますか。

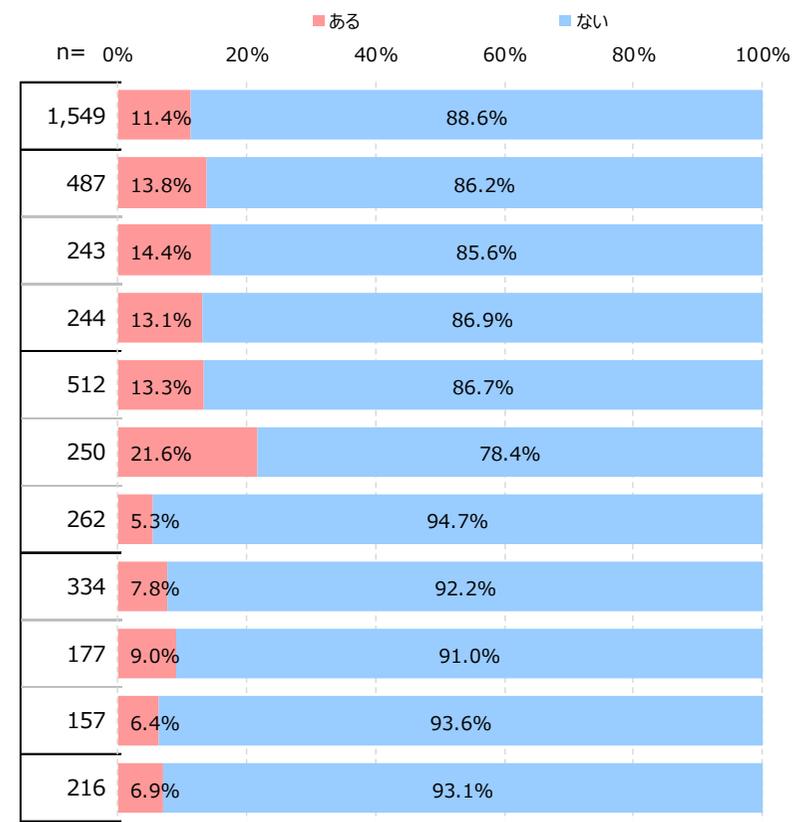
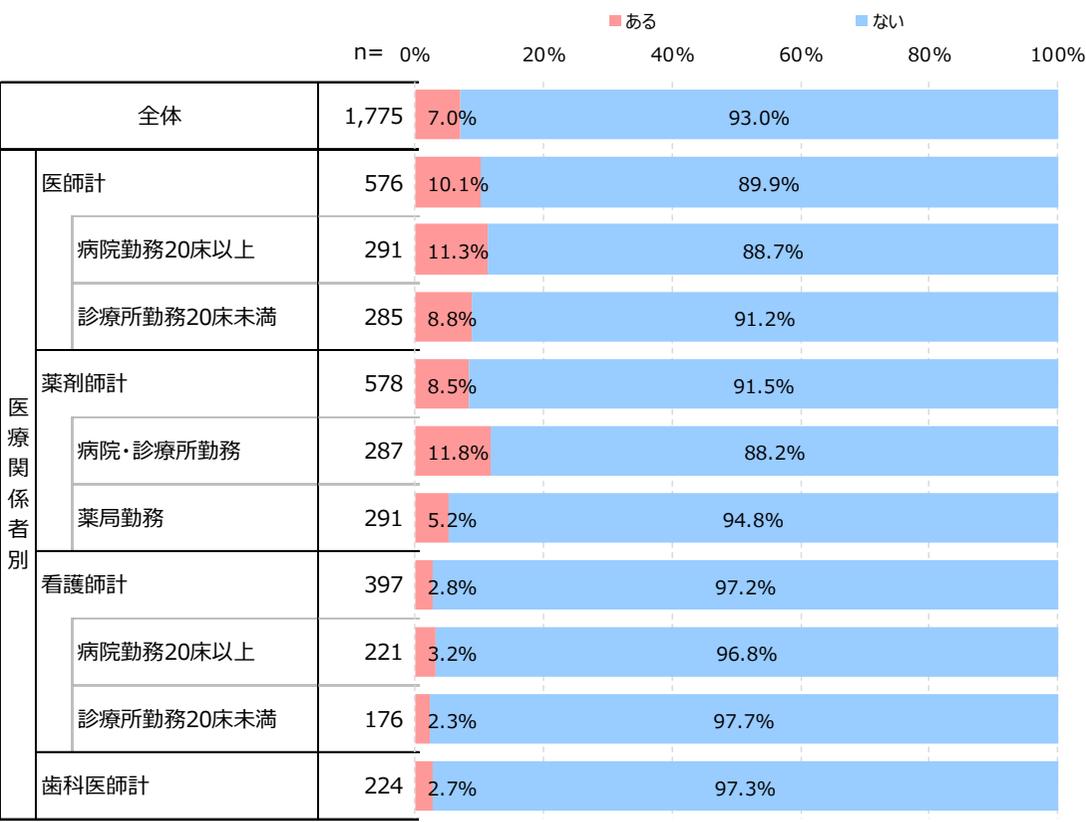
- 「医薬品副作用被害救済制度」に関わったことが「ある」との回答は7%で、R1から4pt低下している。
- 【医療関係者別】
- すべての職種でR1から低下している。

※「医薬品副作用被害救済制度」認知者ベース

単一回答

令和2年度調査

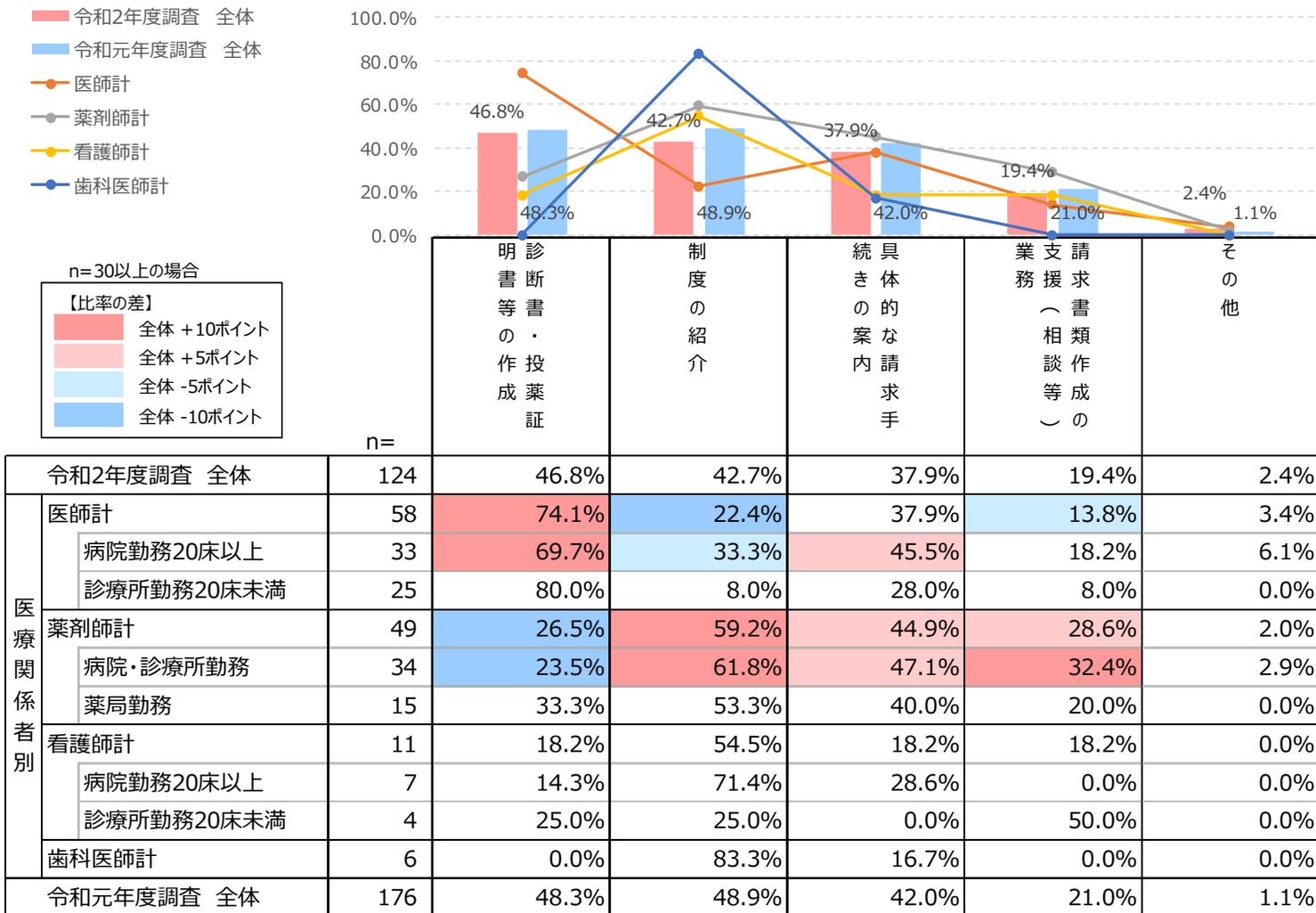
令和元年度調査



R2/R1 Q13/Q8. 「医薬品副作用被害救済制度」の請求にどのような内容で関わりましたか。

- 関わったことが「ある」との回答は、「その他」を除く全ての項目でR1から減少している。
- 【医療関係者別】
- 「診断書・投薬証明書等の作成」は医師が突出していた。また、「制度の紹介」は薬剤師、看護師（病院勤務20床以上）、歯科医師が高かった。

※「医薬品副作用被害救済制度」の請求に関わったことが「ある」と回答された方ベース



複数回答

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q14/Q9.患者さんが「医薬品副作用被害救済制度」に係る給付請求を行う場合、貴医療機関では、請求書作成等の手続きを支援する部署（担当）がありますか。

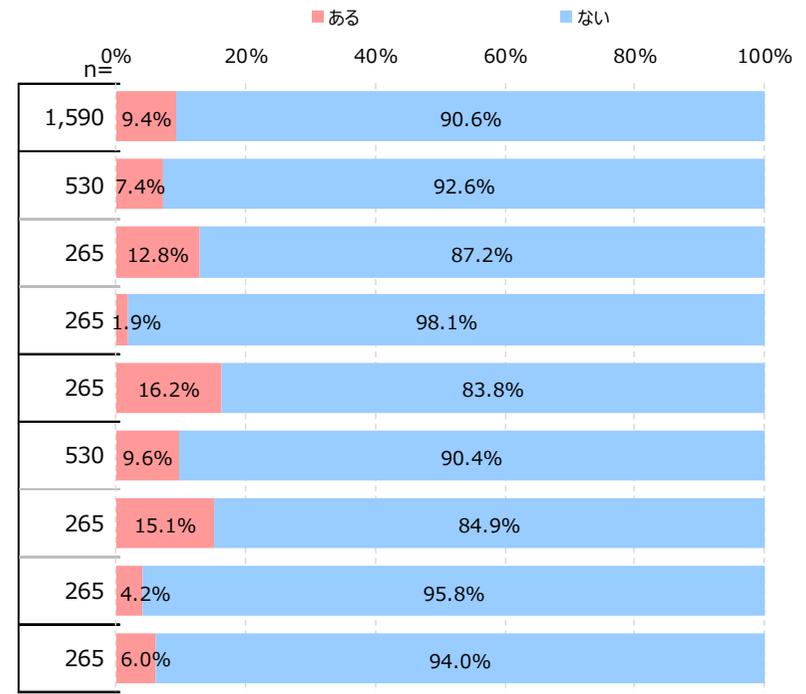
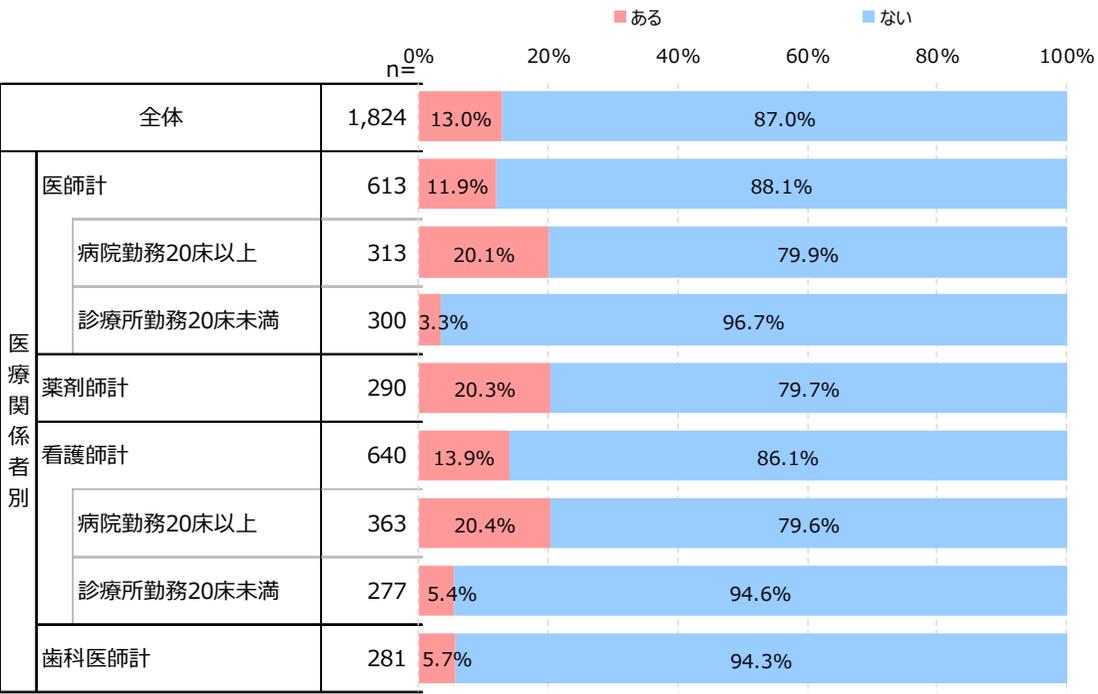
- 「医薬品副作用被害救済制度」の請求書作成等の手続きを支援する部署（担当者）が「ある」と回答したのは13%であった。
- R1と同様に、医師、看護師とも病院勤務での「ある」が診療所勤務よりも高い

※病院・診療所勤務の方ベース

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



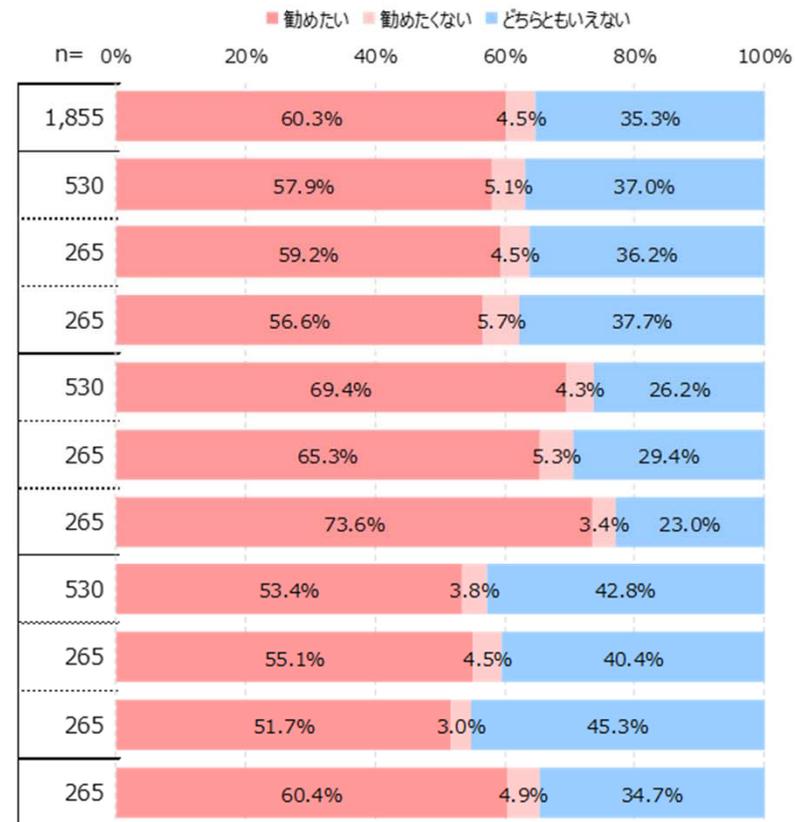
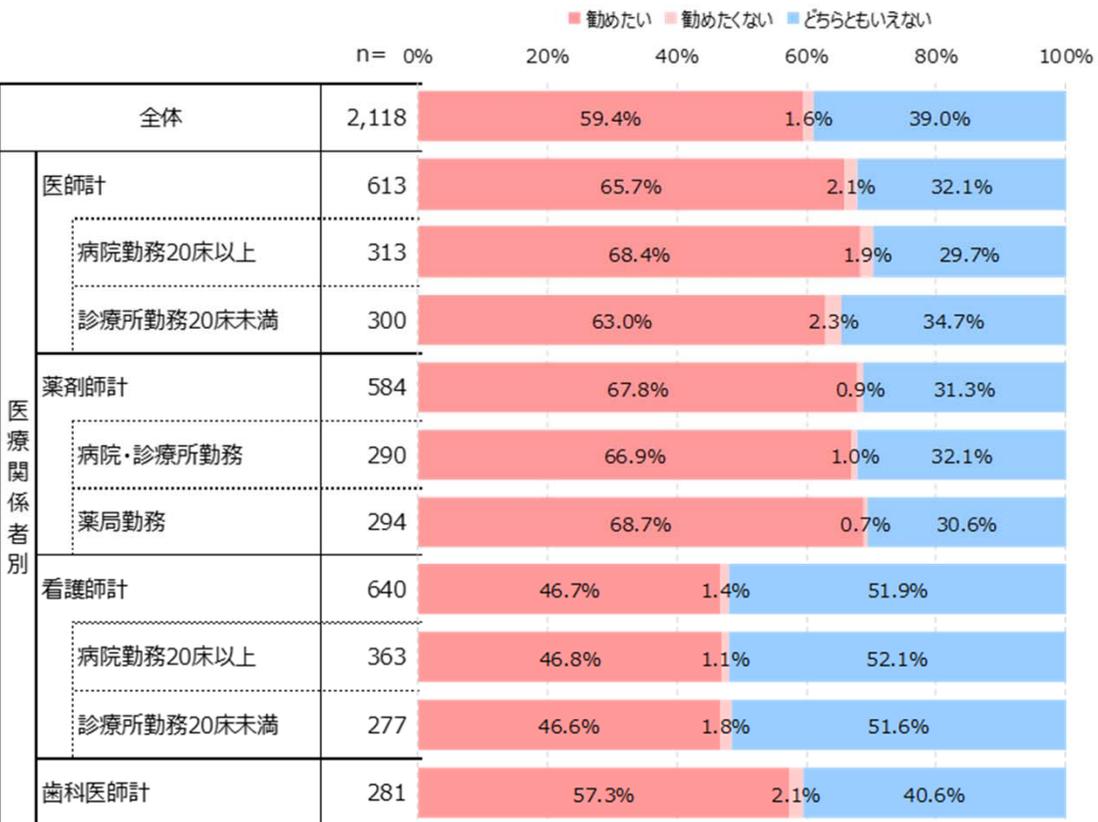
R2/R1 Q15/Q10.あなたは今後、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による入院が必要な程度健康被害を受けた方に対し「医薬品副作用被害救済制度」の利用を勧めたいと思いますか。

- 「医薬品副作用被害救済制度」を患者に勧めたいかについては、「勧めたい」は59%で、「勧めたくない」は2%であった。
- 【医療関係者別】
- R1と比べて、医師は大幅に上昇傾向であったが、看護師は大幅に減少傾向であった。

単一回答

令和2年度調査

令和元年度調査



9 医薬品副作用被害救済制度 勧めたくない理由

R2/R1 Q16/Q11.あなたが、「勧めたくない」「どちらともいえない」と回答されたのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべてお選びください。

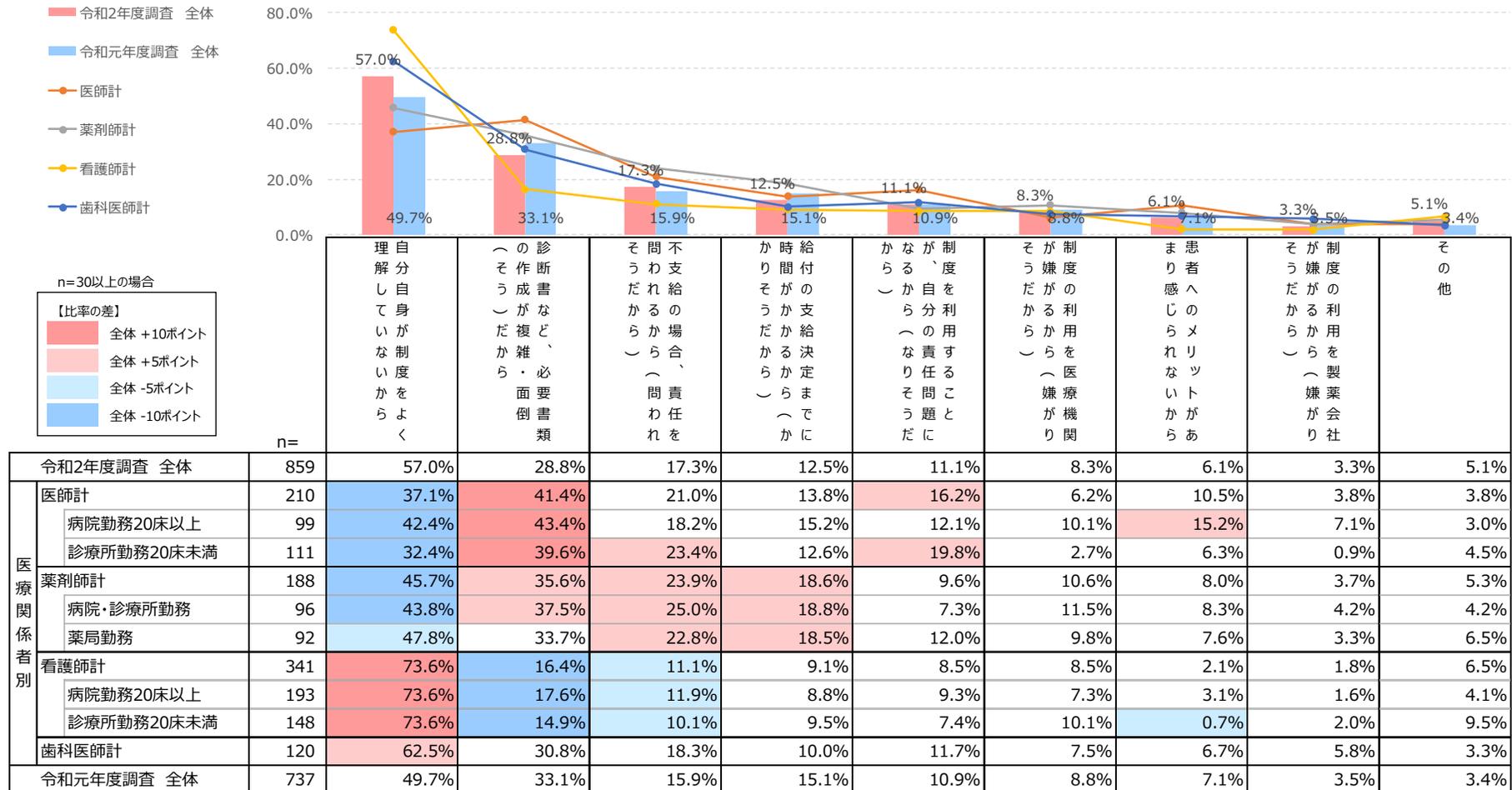
- 「医薬品副作用被害救済制度」を患者に勧めたくない主な理由は、「自分自身が制度をよく理解していないから」57%。続いて、「診断書など、必要書類が複雑・面倒（そう）だから」29%、「不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）」17%である。

【医療関係者別】

- 理由「自分自身が制度をよく理解していないから」では看護師が高い。
- 理由「診断書など、必要書類が複雑・面倒（そう）だから」では医師が高い。
- 理由「不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）」では薬剤師が比較的高い。

※「医薬品副作用被害救済制度」を「勧めたくない」「どちらともいえない」と回答した人ベース

複数回答



※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q17/Q12.あなたは、テレビでこのCMを見たことがありますか。

•テレビCMの認知率（見たことがある+見たように気がする）は26%で、R1から3pt減少。

【医療関係者別】

•薬剤師は認知率が高く、診療所勤務の看護師が最も低かった。

n=30以上の場合

【比率の差】



令和2年度調査



医療関係者別	人数	見たことがある	見たことはない	見たような気がする	動画が見られない	認知計
全体	2,118	6.0%	73.1%	19.7%	1.1%	25.8%
医師計	613	6.2%	70.8%	22.2%	0.8%	28.4%
病院勤務20床以上	313	7.0%	74.4%	17.9%	0.6%	24.9%
診療所勤務20床未満	300	5.3%	67.0%	26.7%	1.0%	32.0%
薬剤師計	584	8.9%	67.0%	23.8%	0.3%	32.7%
病院・診療所勤務	290	10.0%	61.7%	28.3%	0.0%	38.3%
薬局勤務	294	7.8%	72.1%	19.4%	0.7%	27.2%
看護師計	640	3.3%	81.3%	13.9%	1.6%	17.2%
病院勤務20床以上	363	3.6%	80.2%	15.2%	1.1%	18.7%
診療所勤務20床未満	277	2.9%	82.7%	12.3%	2.2%	15.2%
歯科医師計	281	6.0%	72.6%	19.2%	2.1%	25.3%

単一回答

令和元年度調査



医療関係者別	人数	見たことがある	見たことはない	見たような気がする	動画が見られない	認知計
全体	1,855	10.5%	70.7%	18.8%	0.0%	29.3%
医師計	530	9.4%	71.1%	19.4%	0.1%	28.9%
病院勤務20床以上	265	8.7%	73.6%	17.7%	0.0%	26.4%
診療所勤務20床未満	265	10.2%	68.7%	21.1%	0.0%	31.3%
薬剤師計	530	18.5%	63.8%	17.7%	0.0%	36.2%
病院・診療所勤務	265	21.9%	61.1%	17.0%	0.0%	38.9%
薬局勤務	265	15.1%	66.4%	18.5%	0.0%	33.6%
看護師計	530	4.5%	79.1%	16.4%	0.0%	20.9%
病院勤務20床以上	265	6.0%	74.0%	20.0%	0.0%	26.0%
診療所勤務20床未満	265	3.0%	84.2%	12.8%	0.0%	15.8%
歯科医師計	265	8.7%	66.8%	24.5%	0.0%	33.2%

※認知計：「見たことがある」+「見たような気がする」

R2/R1 Q18/Q13.動画（TVCM）をご覧になった感想をお聞きます。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

•テレビCMについて、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」69%であり、「印象（記憶）に残った」65%も同程度で、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」は36%に留まった。
 •「興味や関心を持った」は、R1と比べ上昇傾向である。

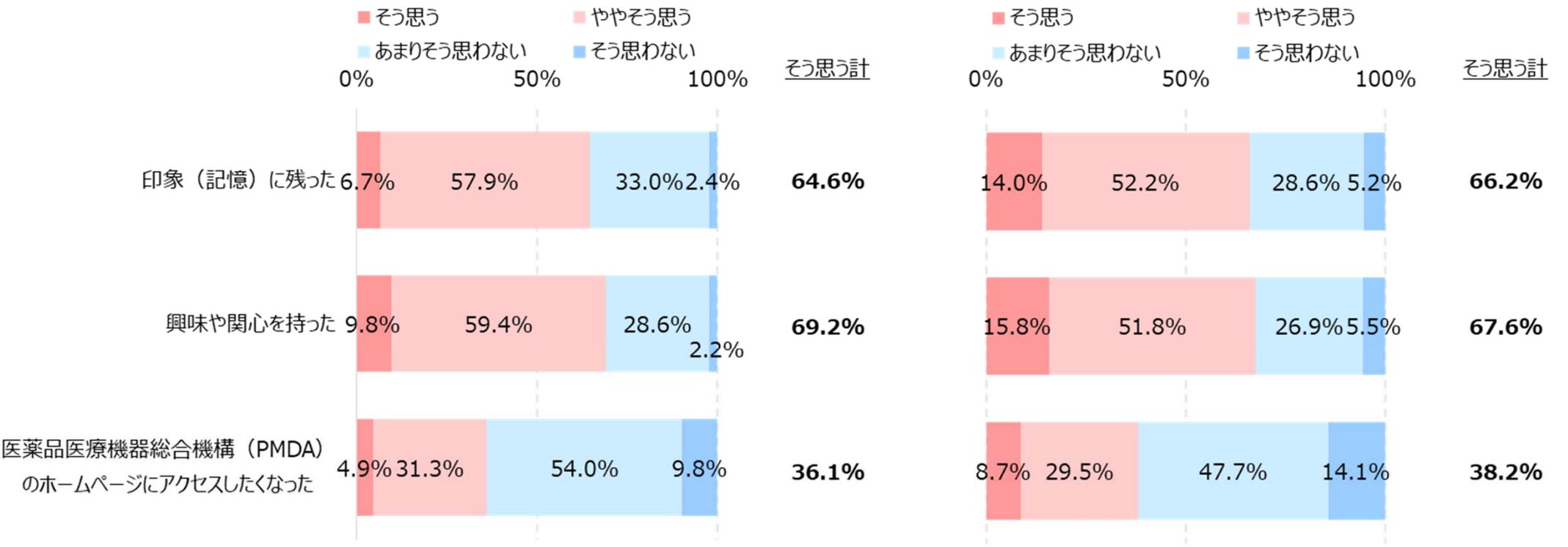
単一回答

令和2年度調査

(n=2,118)

令和元年度調査

(n=1,855)



※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

R2/R1 Q18/Q13.動画 (TVCM) をご覧になった感想をお聞きます。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

•テレビCMについて、「興味や関心を持った」と評価した (そう思う+ややそう思う) 方は、69%であった。

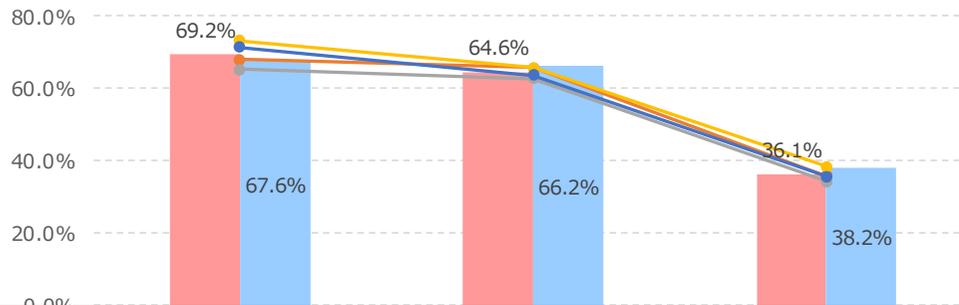
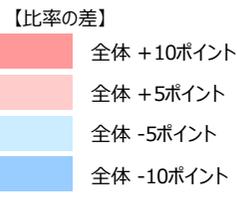
【医療関係者別】

•「興味や関心を持った」と評価した (そう思う+ややそう思う) 方の内、診療所勤務の看護師が74%と最も多く、薬局勤務の薬剤師が64%と比較すると、10ptの差があった。

「そう思う (そう思う) + (ややそう思う)」の割合



n=30以上の場合



単一回答

医療関係者別	n=	【比率の差】		
		令和2年度調査 全体	令和元年度調査 全体	差
医師計	608	69.2%	67.9%	+1.3%
病院勤務20床以上	311	65.6%	66.6%	-1.0%
診療所勤務20床未満	297	70.4%	64.6%	+5.8%
薬剤師計	582	65.1%	62.7%	+2.4%
病院・診療所勤務	290	66.2%	64.5%	+1.7%
薬局勤務	292	64.0%	61.0%	+3.0%
看護師計	630	73.2%	65.7%	+7.5%
病院勤務20床以上	359	72.4%	66.9%	+5.5%
診療所勤務20床未満	271	74.2%	64.2%	+10.0%
歯科医師計	275	71.3%	63.6%	+7.7%
令和元年度調査 全体	1,855	67.6%	66.2%	+1.4%

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

12 救済制度紹介動画の認知率

R2/R1 Q19/Q14.あなたは、インターネットサイトでこの動画を見たことがありますか。

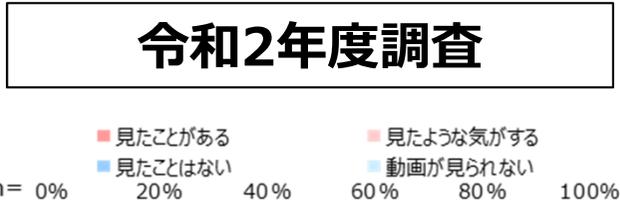
•救済制度紹介動画の認知率（見たことがある+見たように気がする）は10%で、R1より認知率は下がった。
 【医療関係者別】
 •診療所勤務の看護師の認知が最も低かった。

n=30以上の場合

単一回答

【比率の差】

全体 +10ポイント
全体 +5ポイント
全体 -5ポイント
全体 -10ポイント



医療関係者別	n	見たことがある	見たことはない	見たように気がする	動画が見られない	認知計
全体	2,118	2.3%	7.8%	89.2%	0.7%	10.2%
医師計	613	3.1%	10.1%	86.0%	0.8%	13.2%
病院勤務20床以上	313	3.8%	9.3%	86.3%	0.6%	13.1%
診療所勤務20床未満	300	2.3%	11.0%	85.7%	1.0%	13.3%
薬剤師計	584	3.4%	8.9%	87.3%	0.3%	12.3%
病院・診療所勤務	290	4.1%	11.4%	84.1%	0.3%	15.5%
薬局勤務	294	2.7%	6.5%	90.5%	0.3%	9.2%
看護師計	640	0.9%	4.8%	93.6%	0.6%	5.8%
病院勤務20床以上	363	0.8%	5.8%	92.8%	0.6%	6.6%
診療所勤務20床未満	277	1.1%	3.6%	94.6%	0.7%	4.7%
歯科医師計	281	1.4%	7.5%	90.0%	1.1%	8.9%

医療関係者別	n	見たことがある	見たことはない	見たように気がする	動画が見られない	認知計
全体	1,855	4.2%	8.7%	87.1%		12.9%
医師計	530	4.9%	8.5%	86.6%		13.4%
病院勤務20床以上	265	6.4%	8.3%	85.3%		14.7%
診療所勤務20床未満	265	3.4%	8.7%	87.9%		12.1%
薬剤師計	530	6.2%	8.3%	85.5%		14.5%
病院・診療所勤務	265	7.5%	8.3%	84.2%		15.8%
薬局勤務	265	4.9%	8.3%	86.8%		13.2%
看護師計	530	1.7%	7.9%	90.4%		9.6%
病院勤務20床以上	265	1.9%	11.3%	86.8%		13.2%
診療所勤務20床未満	265	1.5%	4.5%	94.0%		6.0%
歯科医師計	265	3.8%	11.7%	84.5%		15.5%

※認知計：「見たことがある」+「見たように気がする」

13 救済制度紹介動画の評価（その1）

R2/R1 Q20/Q15.動画（救済制度紹介動画）をご覧になった感想をお聞きます。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

- 救済制度紹介動画について、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」が71%。「印象（記憶）に残った」が69%であり、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」は45%に留まった。
- 3項目とも評価がR1と比べ上昇している。

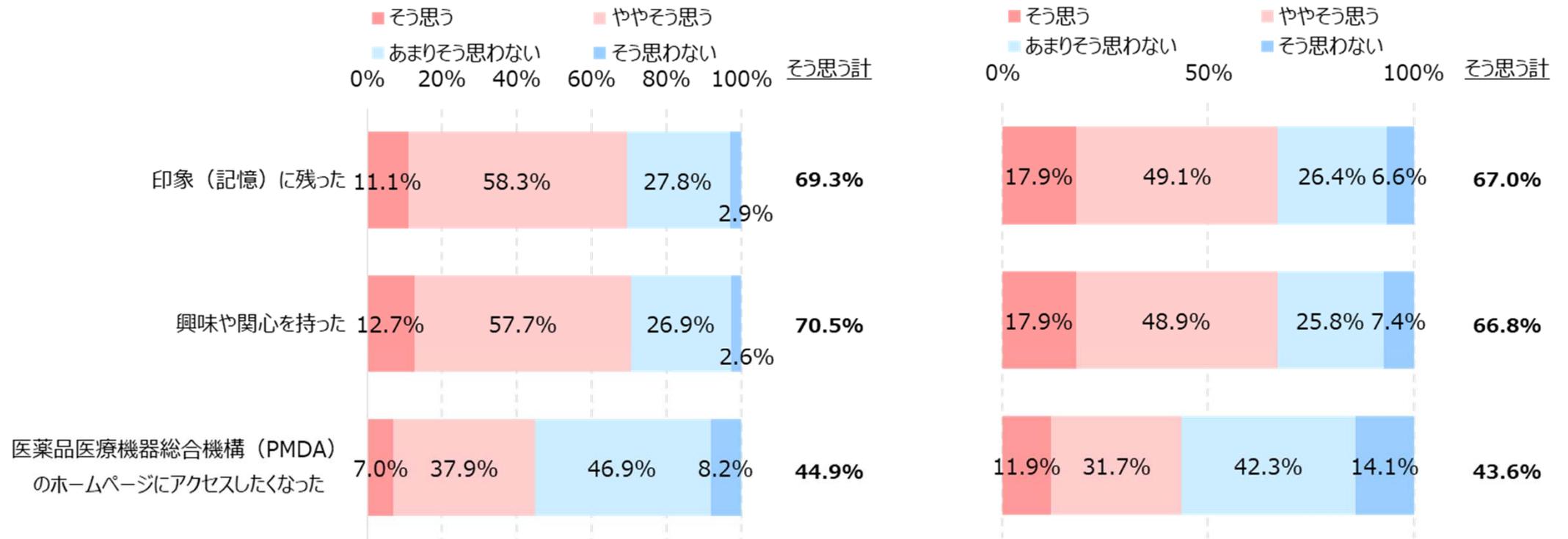
単一回答

令和2年度調査

(n=2,118)

令和元年度調査

(n=1,855)



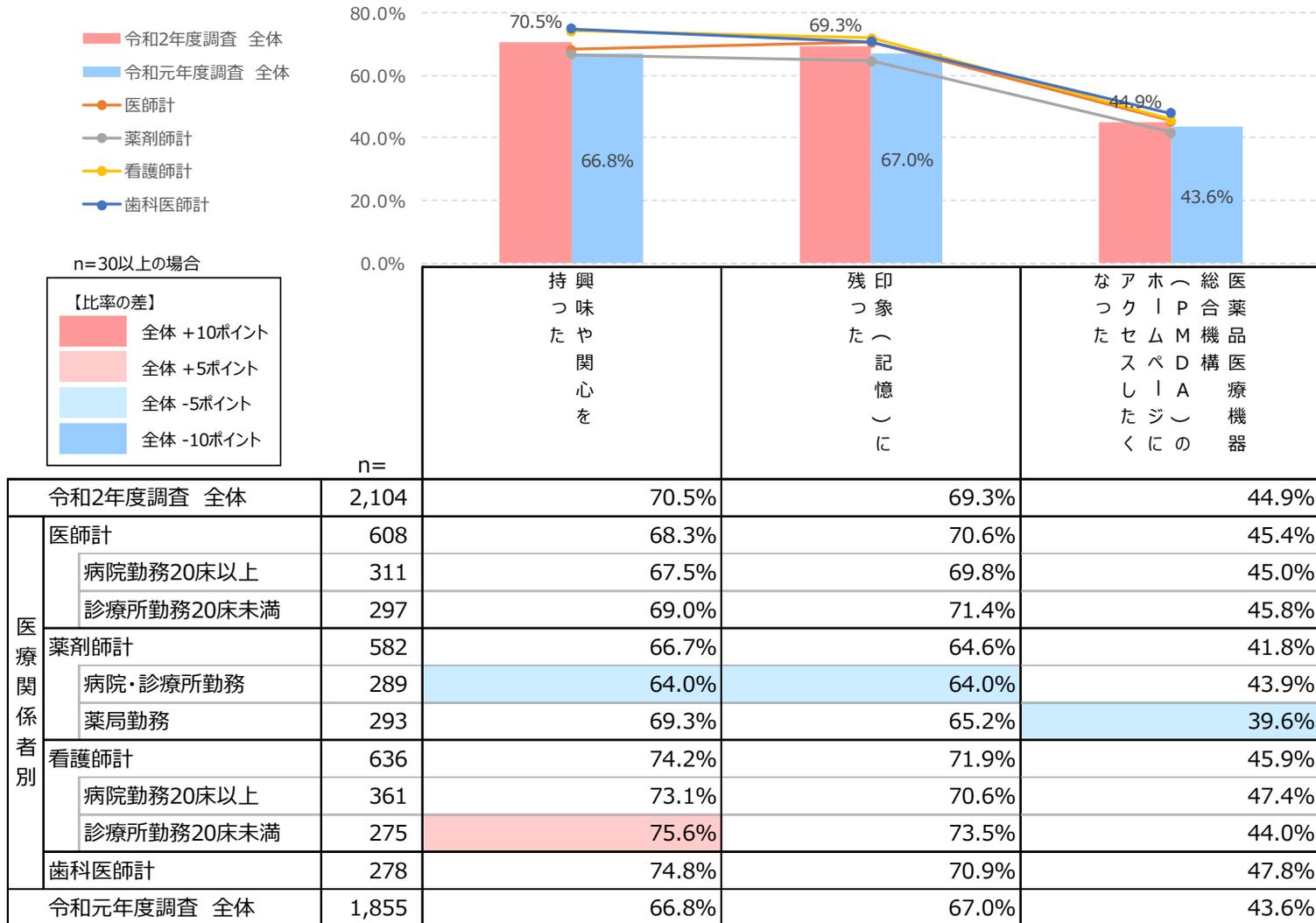
※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

13 救済制度紹介動画の評価 (その2)

R2/R1 Q20/Q15.動画 (救済制度紹介動画) をご覧になった感想をお聞きます。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

•救済制度紹介動画について、「興味や関心を持った」と評価した (そう思う+ややそう思う) 方は、診療所勤務の看護師が76%と最も多く、病院・診療所勤務の薬剤師64%と比較すると、12ptの差があった。

「そう思う (そう思う) + (ややそう思う)」の割合



単一回答

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q22/Q17.新聞広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

- 新聞広告について、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」55%であり、「印象（記憶）に残った」も51%と同程度で、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」は35%に留まった。
- 3項目ともに、R1と比べ減少している。

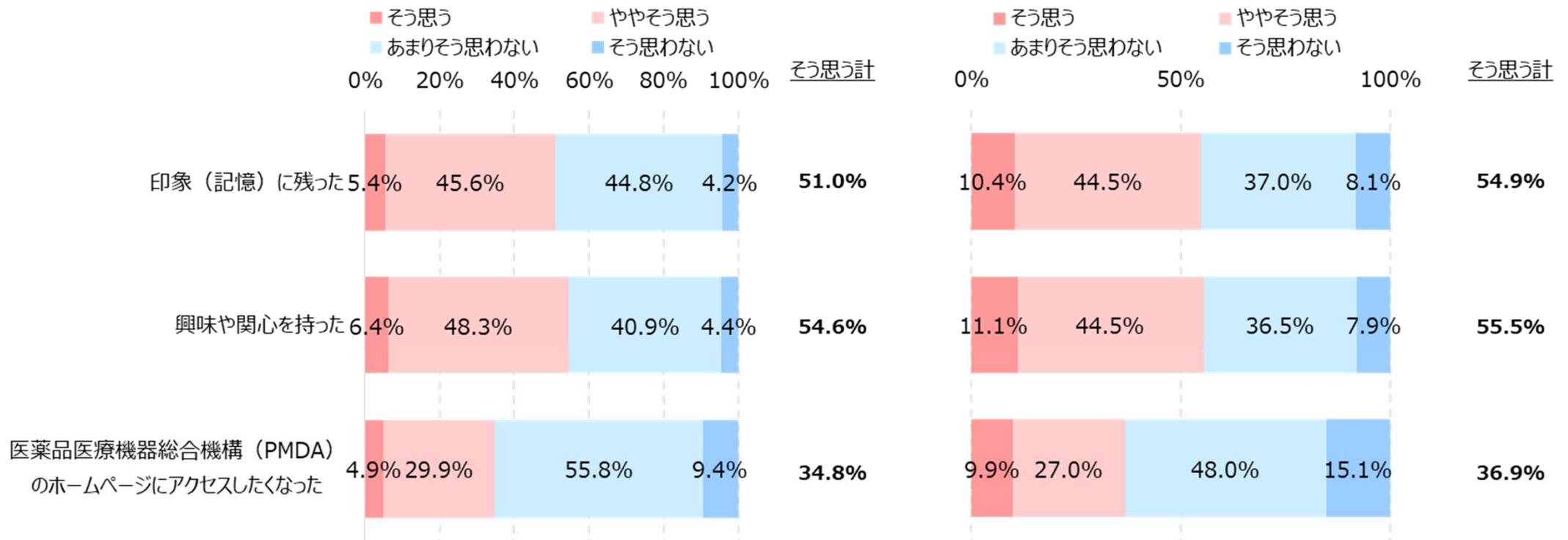
単一回答

令和2年度調査

(n=2,118)

令和元年度調査

(n=1,855)

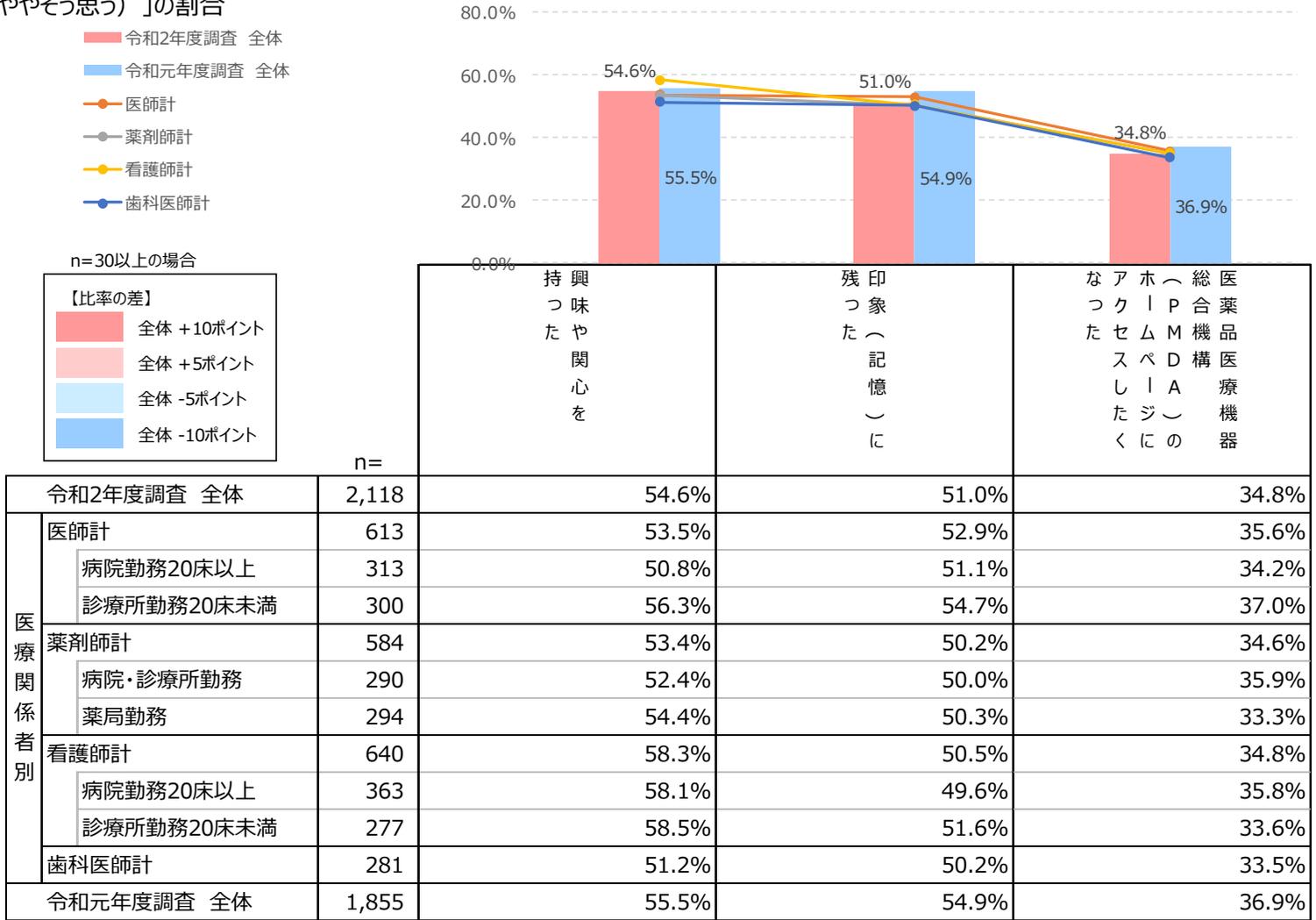


※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

R2/R1 Q22/Q17.新聞広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

•新聞広告について、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」と評価した(そう思う+ややそう思う)方は、診療所勤務の医師が37%と最も多く、薬局勤務の薬剤師の33%と比較すると、4ptの差があった。

「そう思う(そう思う) + (ややそう思う)」の割合



単一回答

n=30以上の場合

【比率の差】

- 全体 +10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体 -10ポイント

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q23/Q18.あなたは、これまでに院内ビジョン、薬局ビジョンで救済制度のCM（動画）を見たことがありますか。

・院内ビジョン、薬局ビジョンの認知率（見たことがある+見たような気がする）は14%で、R1より認知率は7pt下がった。

【医療関係者別】

- ・医師の認知率が最も高く17%であった。
- ・一方、看護師の認知率が最も低く10%で、特に診療所勤務の看護師の認知が最も低かった。

n=30以上の場合

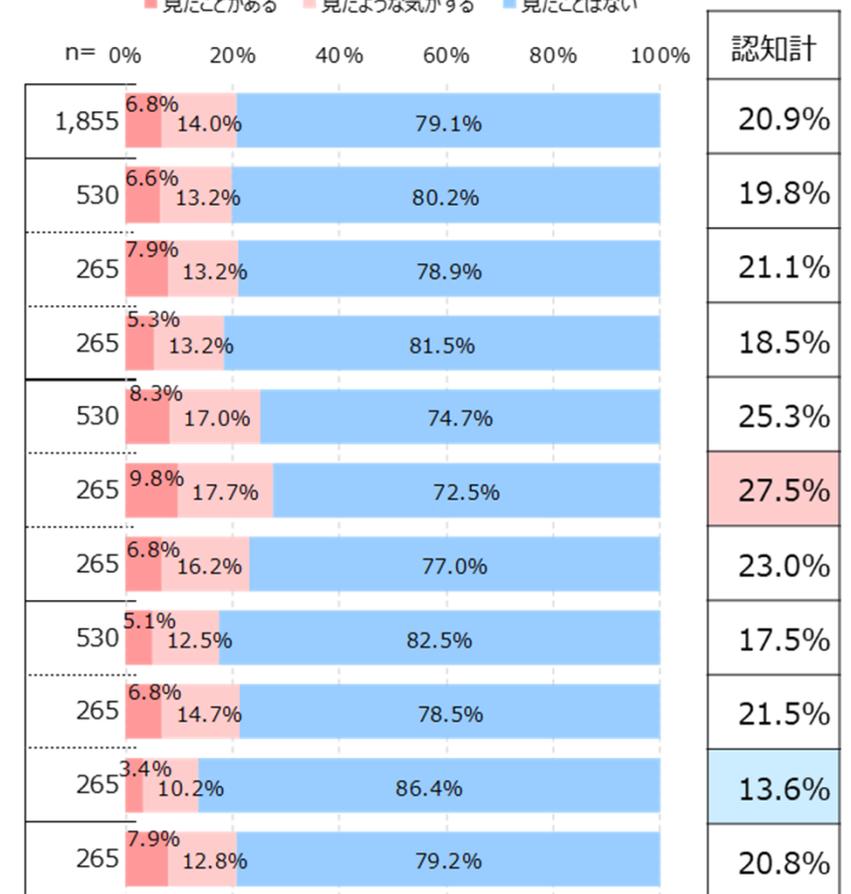
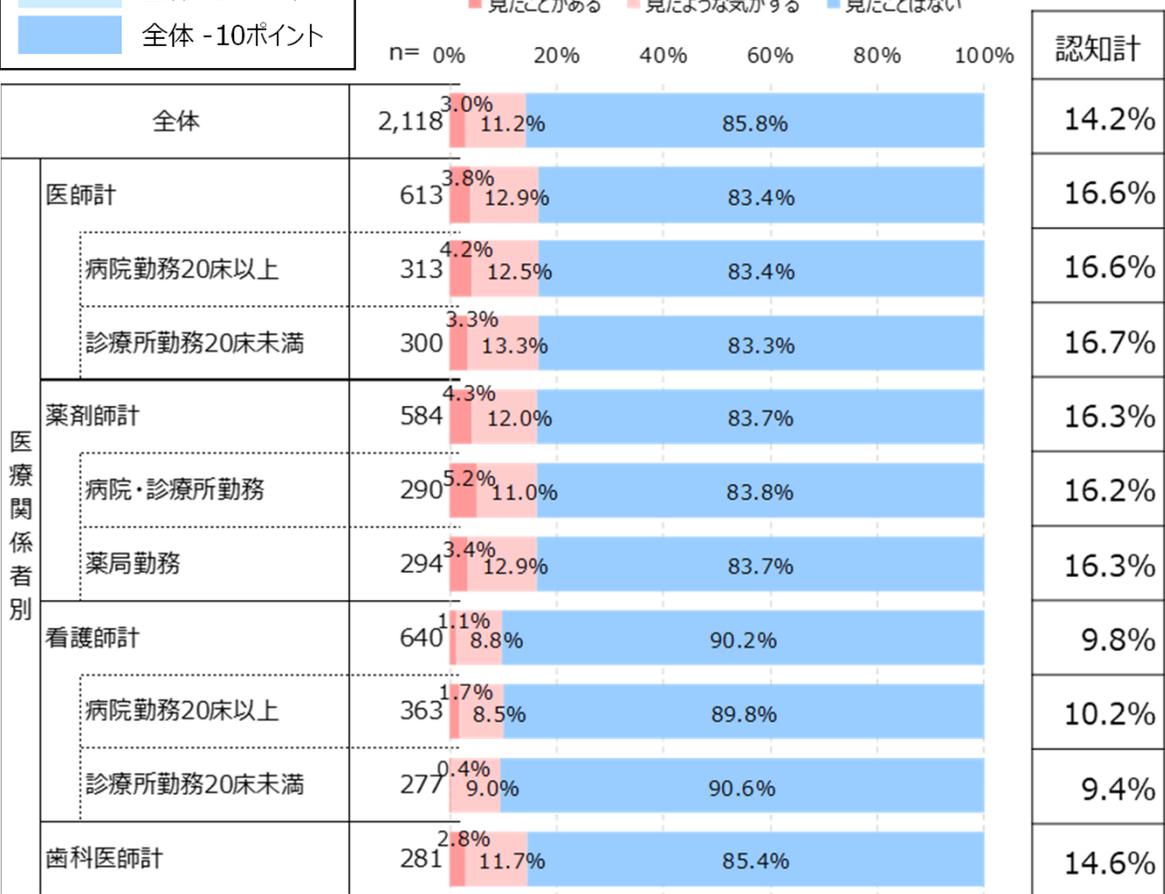
【比率の差】



令和2年度調査

令和元年度調査

単一回答



※認知計：「見たことがある」+「見たような気がする」

R2/R1 Q24/Q19.院内ビジョン、薬局ビジョンのCMをご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

- 院内ビジョン、薬局ビジョンについて、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」が70%、「印象（記憶）に残った」が67%であり、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」も61%であった。
- 3項目ともに、R1と比べ減少している。

※薬局ビジョンや院内ビジョンのCM認知者ベース

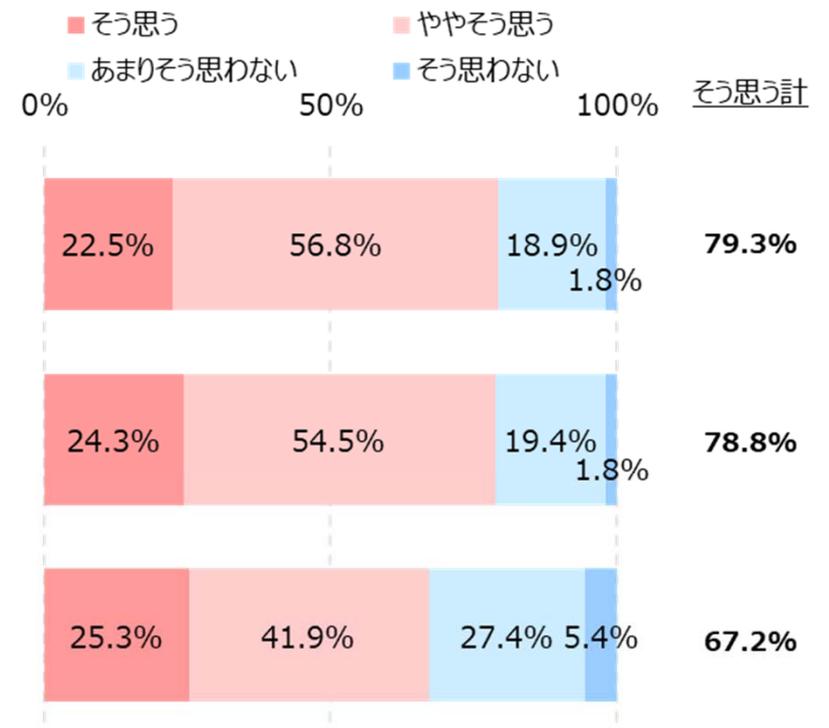
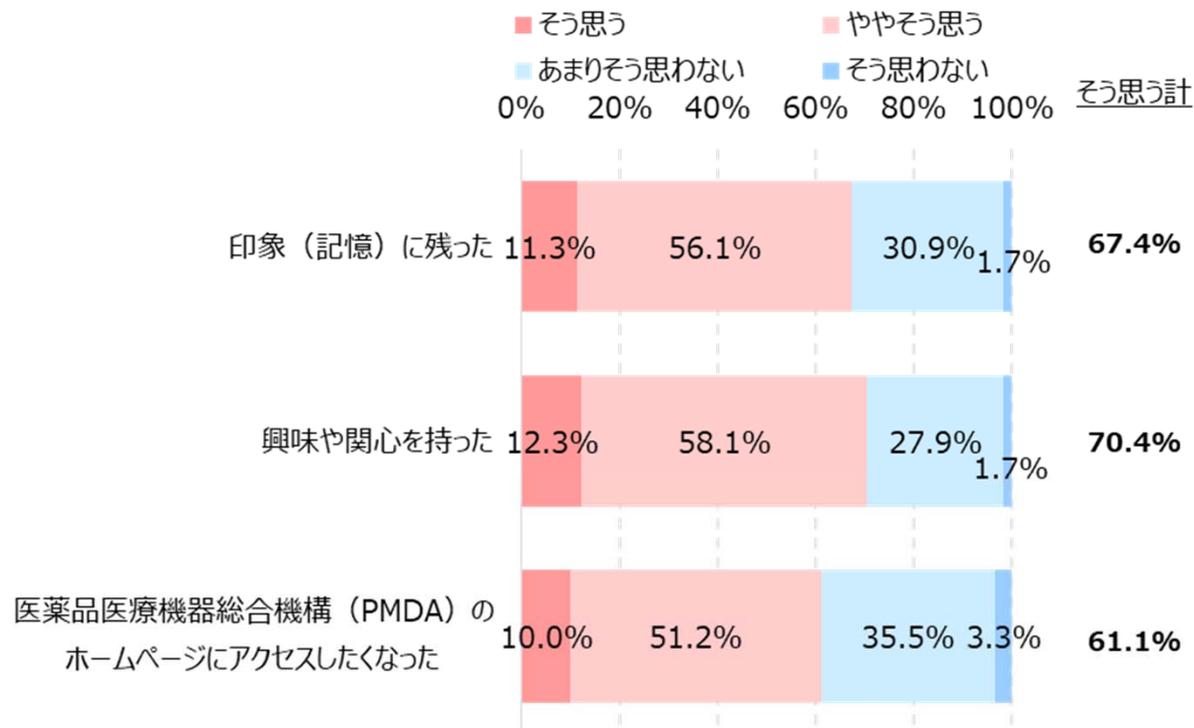
単一回答

令和2年度調査

(n=301)

令和元年度調査

(n=387)



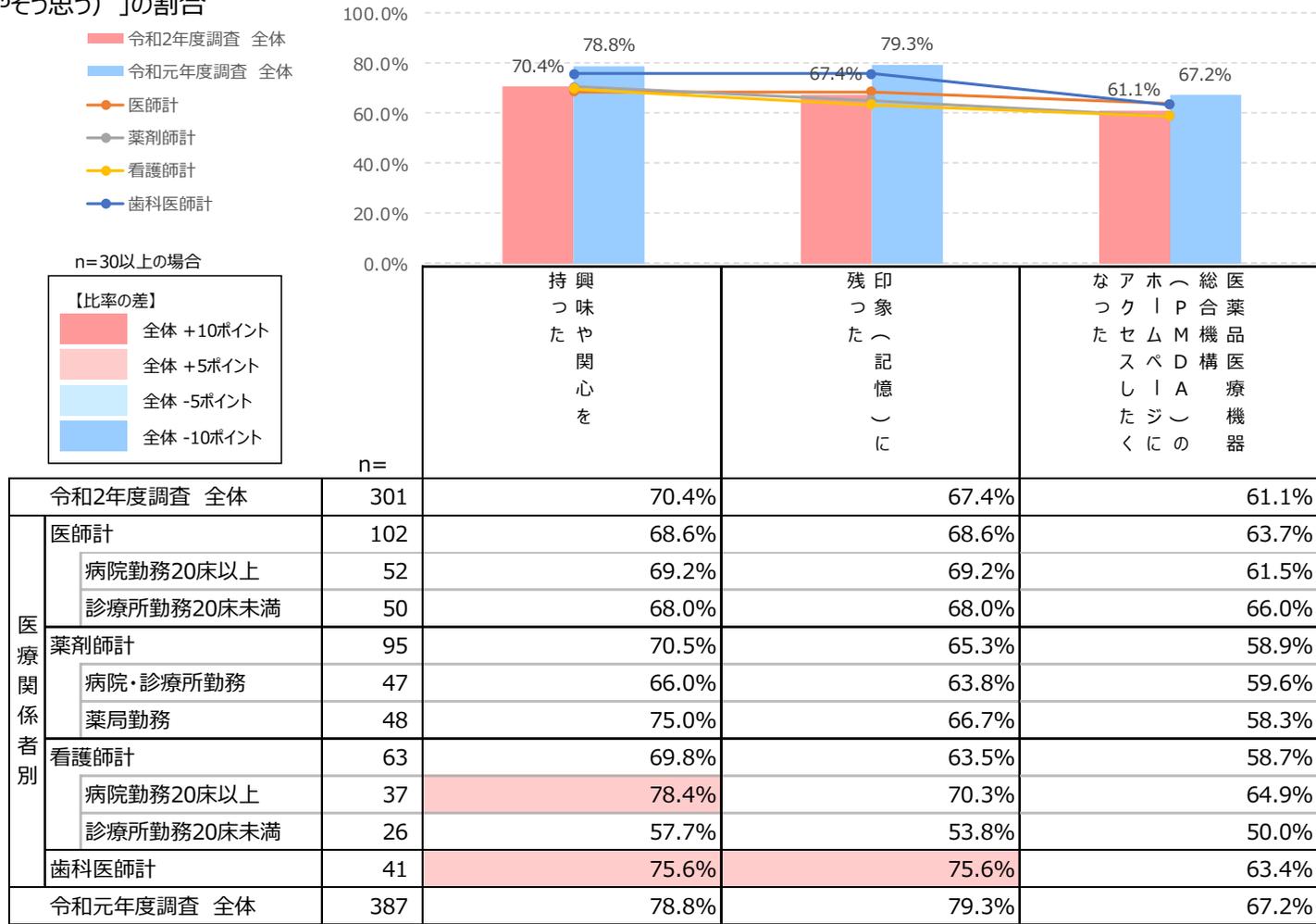
※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

R2/R1 Q24/Q19.院内ビジョン、薬局ビジョンのCMをご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

・院内ビジョン、薬局ビジョンについて、「興味や関心を持った」と評価した（そう思う+ややそう思う）方は、最も多い病院勤務の看護師では78%で、最も少ない診療所勤務の看護師で58%と同じ看護師で20ptの差があった。

※薬局ビジョンや院内ビジョンのCM認知者ベース

「そう思う計（そう思う）+（ややそう思う）」の割合



単一回答

※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q25/Q20.あなたは、これまでに専門雑誌で救済制度の広告を見たことがありますか。

・専門雑誌広告の認知率（見たことがある+見たような気がする）は38%で、R1より認知率は6pt下がった。

【医療関係者別】

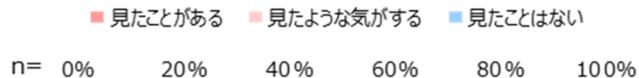
- ・薬剤師の認知率が最も高く62%で、全体と比べて20pt以上の差があった。
- ・看護師の認知率が低く、中でも診療所勤務の看護師で低い。

n=30以上の場合

【比率の差】



令和2年度調査

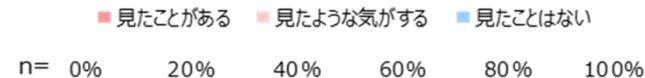


認知計

医療関係者別	n	見たことがある	見たような気がする	見たことはない	認知計
全体	2,118	12.9%	24.6%	62.5%	37.5%
医師計	613	11.4%	25.6%	63.0%	37.0%
病院勤務20床以上	313	9.9%	22.7%	67.4%	32.6%
診療所勤務20床未満	300	13.0%	28.7%	58.3%	41.7%
薬剤師計	584	27.7%	34.2%	38.0%	62.0%
病院・診療所勤務	290	26.6%	31.7%	41.7%	58.3%
薬局勤務	294	28.9%	36.7%	34.4%	65.6%
看護師計	640	3.0%	14.2%	82.8%	17.2%
病院勤務20床以上	363	3.9%	15.7%	80.4%	19.6%
診療所勤務20床未満	277	1.8%	12.3%	85.9%	14.1%
歯科医師計	281	7.8%	26.3%	65.8%	34.2%

単一回答

令和元年度調査



認知計

医療関係者別	n	見たことがある	見たような気がする	見たことはない	認知計
全体	1,855	16.0%	27.7%	56.3%	43.7%
医師計	530	13.8%	28.1%	58.1%	41.9%
病院勤務20床以上	265	14.0%	27.5%	58.5%	41.5%
診療所勤務20床未満	265	13.6%	28.7%	57.7%	42.3%
薬剤師計	530	30.8%	35.1%	34.2%	65.8%
病院・診療所勤務	265	30.9%	34.7%	34.3%	65.7%
薬局勤務	265	30.6%	35.5%	34.0%	66.0%
看護師計	530	4.9%	18.1%	77.0%	23.0%
病院勤務20床以上	265	7.2%	21.1%	71.7%	28.3%
診療所勤務20床未満	265	2.6%	15.1%	82.3%	17.7%
歯科医師計	265	13.2%	30.9%	55.8%	44.2%

※認知計：「見たことがある」+「見たような気がする」

R2/R1 Q26/Q21.専門雑誌の広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

- 専門雑誌の広告について、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」が63%「印象（記憶）に残った」も61%であり、「PMDAのホームページにアクセスしたくなった」が45%であった。
- 3項目ともに、R1と比べ減少している。

※専門雑誌の広告認知者ベース

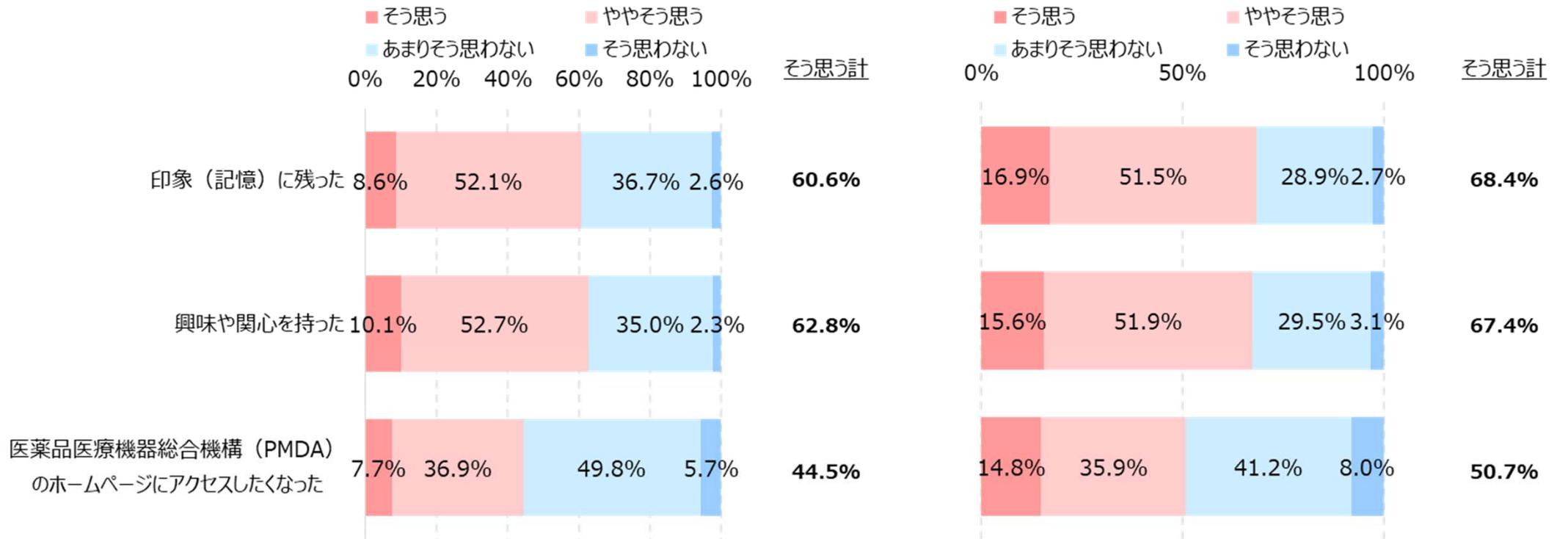
単一回答

令和2年度調査

(n=795)

令和元年度調査

(n=810)



※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

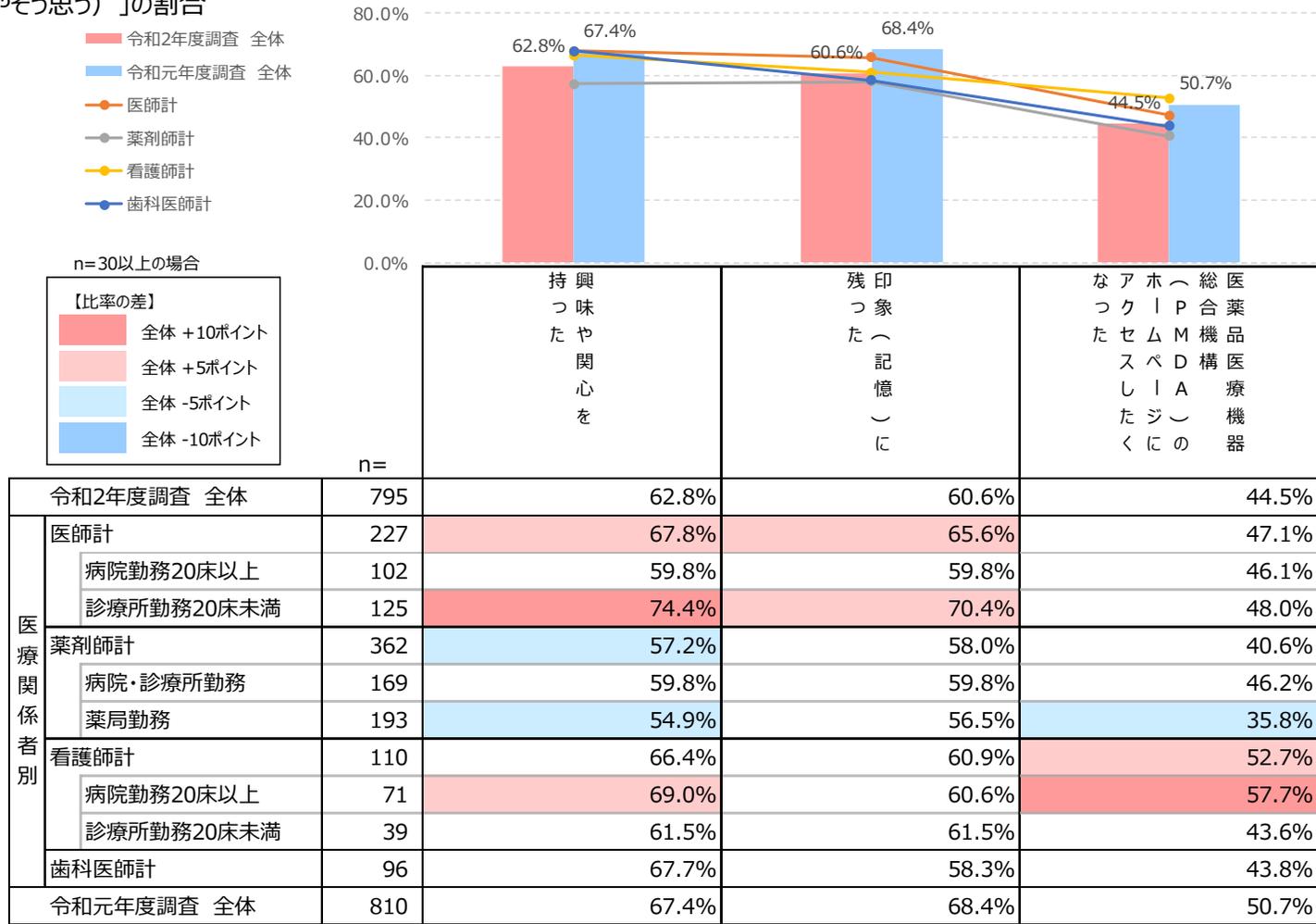
R2/R1 Q26/Q21.専門雑誌の広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

•専門雑誌の広告について、「PMDAのホームページにアクセスしなくなった」と評価した（そう思う+ややそう思う）方は、病院勤務の看護師が58%と最も多く、薬局勤務の薬剤師36%と比較すると、22ptの差があった。

※専門雑誌の広告認知者ベース

「そう思う計（そう思う）+（ややそう思う）」の割合

単一回答



※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q27/Q22.あなたは、これまでにインターネットで救済制度特設サイトを見たことがありましたか。画像（救済制度特設サイトトップページ）をご覧になってからお答えください。

・救済制度特設サイトの認知率（見たことがある+見たような気がする）は21%で、R1より認知率は15pt下がった。

【医療関係者別】

・病院・診療所勤務の薬剤師の認知率が最も高く38%で、診療所勤務の看護師8%と比べて30ptの差があった。

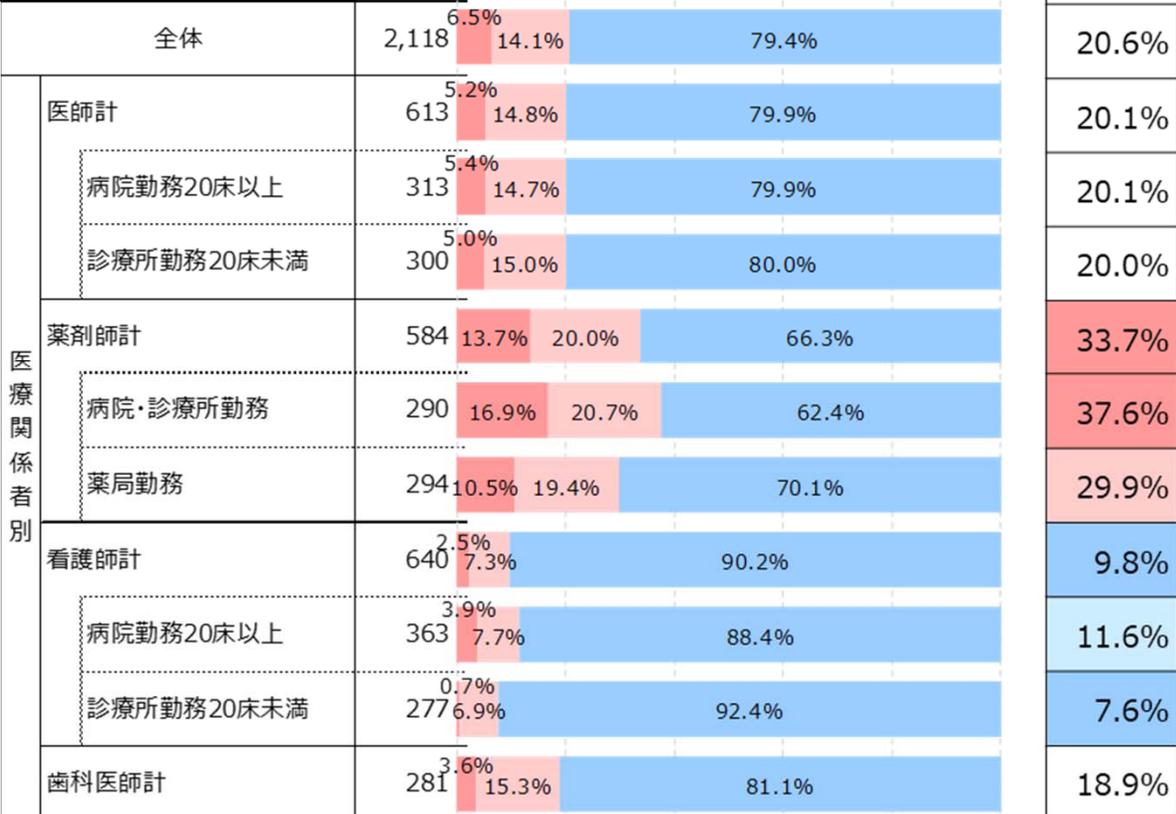
n=30以上の場合

【比率の差】



令和2年度調査

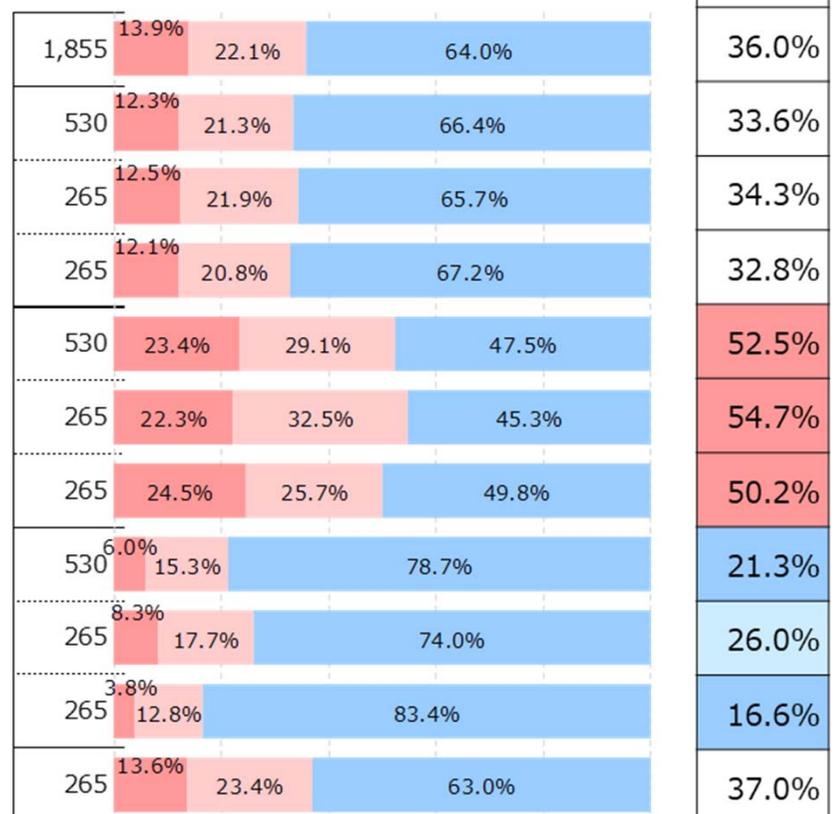
■ 見たことがある ■ 見たような気がする ■ 見たことはない



単一回答

令和元年度調査

■ 見たことがある ■ 見たような気がする ■ 見たことはない



※認知計：「見たことがある」+「見たような気がする」

R2/R1 Q28/Q23.救済制度特設サイトをご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

- 救済制度特設サイトについて、最も評価された（そう思う+ややそう思う）項目は、「興味や関心を持った」、「印象（記憶）に残った」が共に73%であり、「役に立つ情報が得られた」は70%であった。
- 3項目ともに、7割以上の評価（そう思う+ややそう思う）であるが、R1からは減少している。

※「救済制度特別サイト」認知者ベース

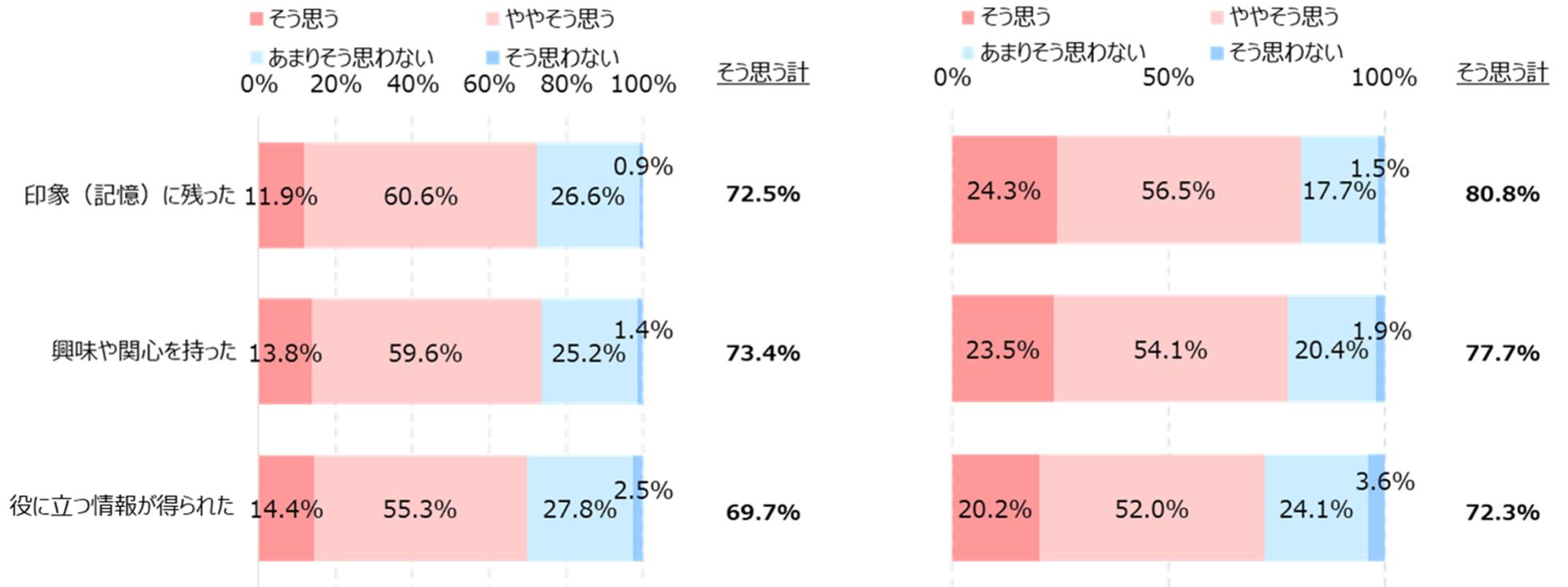
単一回答

令和2年度調査

(n=436)

令和元年度調査

(n=667)



※そう思う計：「そう思う」+「ややそう思う」

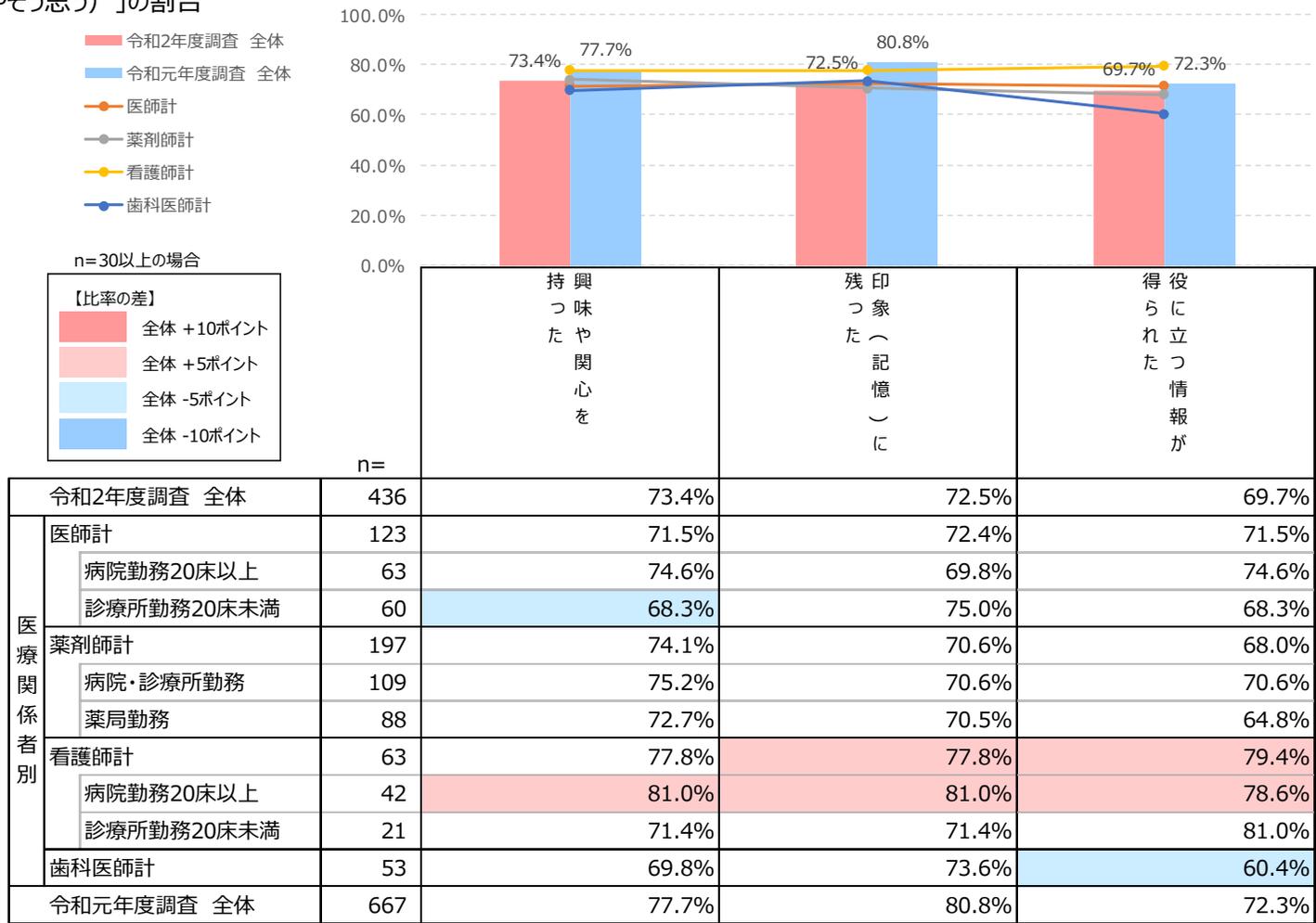
R2/R1 Q28/Q23.救済制度特設サイトをご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

・「役に立つ情報が得られた」と評価した（そう思う+ややそう思う）方は、診療所勤務の看護師が81%と最も多く、最も少ない歯科医師でも60%を占めていた。

※「救済制度特別サイト」認知者ベース

「そう思う計（そう思う） + （ややそう思う）」の割合

単一回答



※「令和2年度調査 全体」のスコアで降順ソート

R2/R1 Q29/Q24.テレビCM、新聞、WEB広告、院内ビジョン、薬局ビジョン、ラジオCM、ポスター、医療関係専門誌以外で、制度認知に有効とお考えの媒体がありましたら、ご回答ください。

・上記以外の手段としては、「薬袋/薬手帳/処方薬/医薬品のパッケージ」、「SNS」、「交通広告/駅/電車」が多く上げられている。

自由回答

薬袋/薬手帳/処方薬/医薬品のパッケージ

薬袋や薬情に載せる
薬品の包装への印刷
薬品のパッケージなどに制度画面があることを記載する
薬袋自体を広告にしたいと思う。お薬ノートは忘れる事もあるし、所有していない人もいる。薬袋は処方されたら薬袋をもらえるので裏に印刷したはどうかと思う。必ず手にするものに印刷する
薬袋の裏などに記載する。手元に残り、繰り返し見れるものに記載することで目につく回数が増え、認知度も上がる気がします。
薬袋の広告、健康保険証送付時の封筒や同封チラシ
薬袋にチラシの封入。
薬袋、薬情への記載
薬情にQRコードを載せる
薬手帳への印刷の義務化等
薬を入れる封筒や、ビニール袋
薬の添付文書につける
薬の袋に印刷して渡す
薬の説明書に記入する
薬の効能書に記載
処方箋袋に印刷し、情報をさらに患者さんに知ってもらう。
処方箋、薬の説明用紙の余白にあると良いと思う。
処方薬の薬袋などに載せるのはどうでしょう？
患者さんに渡す薬袋の裏に印刷。
医薬品の箱に入れる
医薬品などの箱に描いておく。
お薬手帳や薬剤説明書
お薬手帳や血圧手帳、血糖手帳などの冊子内
お薬手帳の裏表紙とかに載せる
お薬手帳の表紙などに印刷することを義務化する
お薬手帳の1番最後のページに印字する。ポイントカードサイズで作り、配布する。
お薬手帳に貼るシール

SNS

人気YouTuberや医療関係の資格を持つ芸能人（芸人さんと軽い気持ちで見やすい）を使ったSNSでの発信
実際に制度を利用した人がSNSなどで発信する
ラインなど使用品度のたかいSNSに広告を出す。
スマートニュース、LINEニュース、Yahooニュースなど
インスタの広告ストーリー
YouTubeのコマーシャル 薬手帳に表面に義務付ける LINE、等のSNSで定期的に配信する
Twitter広告。医療関係の方がたくさんいます。
SNSを使って若い人たちにも知ってもらう
snsで保健所・厚生労働省等とコラボして広告を掲示する
LINEスタンプ付きの友達登録
Instagram、Twitterなどを用いた方が、若者受けする。また、看護師であれば、ナースングスキルに載せるなどすれば、認知が広がると思う。
FacebookやInstagramやTwitter、You Tubeなどは若い世代がよく見ていると思う。

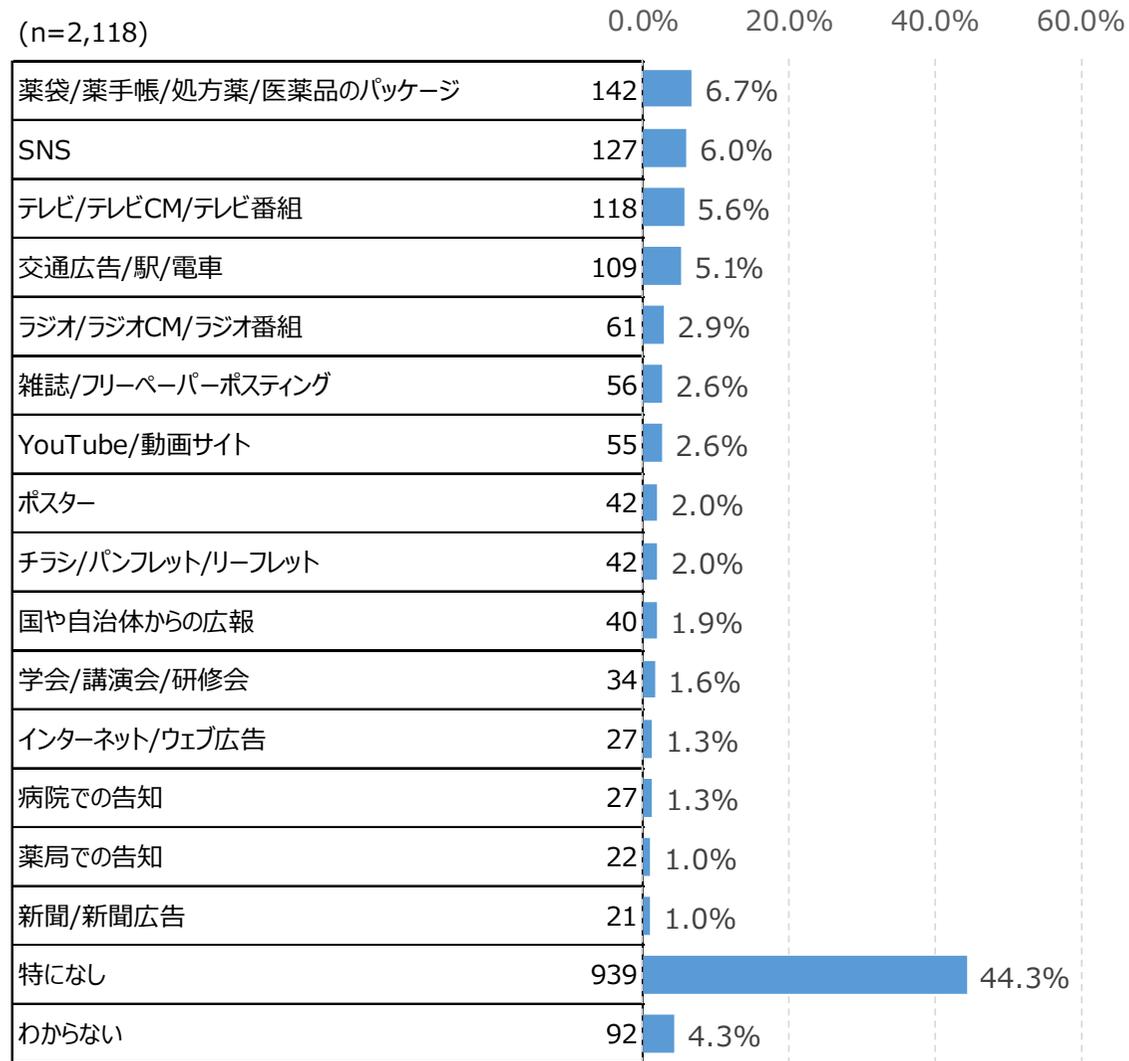
交通広告/駅/電車

病院を巡回するバス、タクシーの車内
病院の近くの駅での掲示やタクシーでの掲示
電車内吊し広告
電車内や駅内のポスター
電車内ビジョン
電車やバス等の公共交通車内や駅等の広告として。
電車、バス内や、駅構内の広告
噛み砕いた表現で電車など交通機関はどうですか。
駅のビジョンなど
バス等の車体ペイント
バスや電車などの公共交通に掲示。
ターミナル駅や空港、映画館での広告も有効であると考えます。

R2/R1 Q29/Q24.テレビCM、新聞、WEB広告、院内ビジョン、薬局ビジョン、薬局ビジョン、ラジオCM、ポスター、医療関係専門誌以外で、制度認知に有効とお考えの媒体がありましたら、ご回答ください。

・上記以外の手段としては、「薬袋/薬手帳/処方薬/医薬品のパッケージ」、「SNS」、「交通広告/駅/電車」が多く上げられている。

■令和2年度調査 アフターコーディング一覧



自由回答

付録:調査票

〔令和元年度調査〕

医療に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

動画をご覧いただくため、下記の利用環境を推奨しています。

パケット定額制未加入の方や、WiFi環境にない方はご注意ください。
調査票内の動画を視聴する際は、別途パケット料金が発生いたします。

動作環境

パソコン	
Windowsの場合	Macの場合
Internet Explorer11 Firefox 最新版 (67.0以上) Chrome 最新版 (75.0以上) Microsoft Edge	Safari 最新版 (12.0以上)
スマートフォン	
※一部機種において再生されない場合がございます。	
Androidの場合	iPhoneの場合
Android 6.0以上 ブラウザ：Chrome	iOS 11.0以上 ブラウザ：標準 (Safari)
タブレット	
iPadの場合	
iOS 12 ブラウザ：標準 (Safari)	

音声を聴こえる状態にしてご覧ください。

- 🔒 「調査についての守秘義務」の徹底をお願いします。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。
- ❗ アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

• ①必須入力

Q1 100%

あなたは、副作用が起きたときに、医療費等の救済給付を行う公的な「医薬品副作用被害救済制度」があることをご存じですか。

🕒 単一回答 ★ 必須回答

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

.....✂️ ここまで改ページ

• ①必須入力

Q2

あなたは、輸血用血液製剤などを介して感染などが発生した場合に、医療費等の救済給付を行う公的な「生物由来製品感染等被害救済制度」があることをご存じですか。

🕒 単一回答 ★ 必須回答

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

.....✂️ ここまで改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q1】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q3

Q1で「医薬品副作用被害救済制度」を「1 知っている」若しくは「2聞いたことがある」と回答された方にお聞きします。
「医薬品副作用被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

- 1
医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である ▲
- ① 知っている
- ② 知らない
- 2
医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う ▲
- ① 知っている
- ② 知らない
- 3
救済給付の請求には、医師が作成した診断書などが必要である ▲
- ① 知っている
- ② 知らない

..... ✂ ここまで改ページ

- セレクト条件：【Q1】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- ⑤_5_FA：必須入力

Q4

Q1で「医薬品副作用被害救済制度」を「1 知っている」若しくは「2聞いたことがある」と回答された方にお聞きします。
あなたは、「医薬品副作用被害救済制度」の運営主体をご存じですか。
あてはまるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

- ① 厚生労働省
- ② 医薬品医療機器総合機構（PMDA）
- ③ 自治体（都道府県、市町村など）
- ④ 健康保険組合連合会
- ⑤ その他の組織・団体（具体的に）
[必須入力]
- ⑥ 知らない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q1】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- ①16_FA：必須入力

Q5

Q1で「医薬品副作用被害救済制度」を「1 知っている」若しくは「2聞いたことがある」と回答された方にお聞きします。
あなたは「医薬品副作用被害救済制度」をどのようにして（何から）知りましたか。
または、どのようにして（何から）聞きましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ
- 2 テレビ放送（CM）
- 3 新聞
- 4 院内ビジョン・薬局ビジョン
- 5 病院に掲示してあるポスター
- 6 郵便局に掲示してあるポスター
- 7 医療関係専門誌
- 8 パンフレット・リーフレット
- 9 厚生労働省のホームページ
- 10 医薬品安全対策情報（DSU）
- 11 副作用報告制度の報告用紙
- 12 勤務先での研修
- 13 学会・研修会・講演会
- 14 大学・専門学校の授業
- 15 聞いた・教えてもらった
- 16 その他（具体的に）
[必須入力]

..... ✂ ここまで改ページ

- セレクト条件：【Q5】で15と答えた方
- ①必須入力
- ①9_FA：必須入力

Q6

Q5で「15 聞いた・教えてもらった」と回答された方にお聞きします。
あなたは「医薬品副作用被害救済制度」について、誰から知りましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。

▼ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 医師
- 2 歯科医師
- 3 薬剤師
- 4 看護師
- 5 医療機関の事務職員
- 6 製薬会社の社員（MR等）
- 7 患者
- 8 保健所の職員
- 9 その他（具体的に）
[必須入力]

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q1】で1,2と答えた方
- ①必須入力

Q7

Q1で「医薬品副作用被害救済制度」を「1 知っている」「2聞いたことがある」と回答された方にお聞きします。
あなたは、これまで「医薬品副作用被害救済制度」の請求に関わったこと（制度の紹介、診断書、投薬証明書の作成など）がありますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

- ① ある
- ② ない

ここを改ページ

- セレクト条件：【Q7】で1と答えた方
- ①必須入力
- ⑤_FA：必須入力

Q8

Q7で「1 ある」と回答された方にお聞きします。
「医薬品副作用被害救済制度」の請求にどのような内容で関わりましたか。（いくつでも）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- ① 制度の紹介
- ② 具体的な請求手続きの案内
- ③ 診断書・投薬証明書等の作成
- ④ 請求書類作成の支援（相談等）業務
- ⑤ その他（具体的に）
(必須入力)

ここを改ページ

- セレクト条件：【SC2】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- ①_FA：必須入力

Q9

病院・診療所勤務の方にお聞きします。
患者さんが「医薬品副作用被害救済制度」に係る給付請求を行う場合、貴医療機関では、請求書作成等の手続きを支援する部署（担当者）がありますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

- ① ある（部署等名）
(必須入力)
- ② ない

ここを改ページ

- ①必須入力

Q10

すべての方にお聞きします。
「医薬品副作用被害救済制度」は、病院・診療所で投薬された医薬品や薬局などで購入した医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による入院治療が必要な程度の疾病や障害などの健康被害を受けた方に対して、救済給付を行う公的な制度です。
あなたは今後、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による入院が必要な程度の健康被害を受けた方に対し「医薬品副作用被害救済制度」の利用を勧めたいと思いますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

- ① 勧めたい
- ② 勧めたくない
- ③ どちらともいえない

ここを改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q10】で2,3と答えた方
- ①必須入力
- ⑨_FA：必須入力

Q11

Q10で「2 勤めたくない」「3 どちらともいえない」と回答された方にお聞きします。
あなたが、「勤めたくない」「どちらともいえない」と回答されたのはどのような理由からですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから
- 2 不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）
- 3 制度を利用することが、自分の責任問題になるから（なりそうだから）
- 4 制度の利用を医療機関が嫌がるから（嫌がりそうだから）
- 5 制度の利用を製薬会社が嫌がるから（嫌がりそうだから）
- 6 自分自身が制度をよく理解していないから
- 7 患者へのメリットがあまり感じられないから
- 8 給付の支給決定までに時間がかかるから（かかりそうだから）
- 9 その他（具体的に）
[必須入力]

..... ✂ ここまで改ページ

- ①必須入力

Q12

「動画1（TVCM）をご覧になってからお答えください。」

※この動画は音声流れます。

音量をONにして、音声とともにご覧ください。（聞き取りにくい場合は音量を大きくしてください。）

※ファイルを再生する準備が完了していますが、画像が表示されない場合がございます。

画面を押して、動画を最後までご覧になってからお答えください。

※動画は場合によっては表示に時間がかかる場合がございます。

すべての方にお聞きします。

あなたは、テレビでこのCMを見たことがありますか。



① 単一回答 ★ 必須回答

- 1 見たことがある
- 2 見たような気がする
- 3 見たことはない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

① 必須入力(全項目)

Q13

すべての方にお聞きます。
動画（TVCM）をご覧になった感想をお聞きます。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選び下さい。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページにアクセスしなくなった ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここまで改ページ

① 必須入力

Q14

「動画2（救済制度紹介動画）をご覧になってからお答えください。」
※この動画は音声がかかります。
音量をONにして、音声とともにご覧ください。（聞き取りにくい場合は音量を大きくしてください。）
※ファイルを再生する準備が完了していますが、画像が表示されない場合がございます。
画面を押して、動画を最後までご覧になってからお答えください。
※動画は場合によっては表示に時間がかかる場合がございます。

すべての方にお聞きます。
あなたは、インターネットサイトでこの動画を見たことがありますか。



① 単一回答 ★ 必須回答

① 見たことがある

② 見たような気がする

③ 見たことはない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

- ① 必須入力(全項目)

Q15

すべての方にお聞きます。
動画（救済制度紹介動画）をご覧になった感想をお聞きます。
以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページにアクセスしたくなった ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここまで改ページ

- ① 必須入力
- 画像必須

Q16

画像（新聞広告）をご覧になってからお答えください。

すべての方にお聞きます。
あなたは、これまでにこの新聞広告を見たことがありますか。

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
※クリック必須



① 単一回答 ★ 必須回答

- ① 見たことがある
- ② 見たような気がする
- ③ 見たことはない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

①必須入力(全項目)

Q17

すべての方にお聞きます。
新聞広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。
以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページにアクセスしたくなった ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここ改ページ

①必須入力

Q18

すべての方にお聞きます。
あなたは、これまでに院内ビジョン、薬局ビジョンで救済制度のCM（動画）を見たことがありますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

① 見たことがある

② 見たような気がする

③ 見たことはない

..... ✂ ここ改ページ

..... ✂ ここ改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q18】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q19

Q18で「1 見たことがある」「2 見たような気がする」と回答された方にお聞きます。
院内ビジョン、薬局ビジョンのCMをご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。
以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページにアクセスしたくなった ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここまで改ページ

- ①必須入力

Q20

すべての方にお聞きます。
あなたは、これまでに専門雑誌で救済制度の広告を見たことがありますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

① 見たことがある

② 見たような気がする

③ 見たことはない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q21

専門雑誌の広告をご覧になった感想をお聞きます。どう思われましたか。以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページにアクセスしなくなった ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここまで改ページ

- ①必須入力
- 画像必須

Q22

画像（救済制度特設サイトトップページ）をご覧になってからお答えください。

すべての方にお聞きます。

あなたは、これまでにインターネットで救済制度特設サイトを見たことがありますか。

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
※クリック必須



① 単一回答 ★ 必須回答

- ① 見たことがある
- ② 見たような気がする
- ③ 見たことはない

..... ✂ ここまで改ページ

付録：調査票

- セレクト条件：【Q22】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q23

Q22で「救済制度特設サイト」を「1 見たことがある」「2 見たような気がする」と回答された方にお聞きします。
救済制度特設サイトをご覧になった感想をお聞きします。どう思われましたか。
以下それぞれにあてはまると思われるものをひとつお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

1 印象（記憶）に残った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

2 興味や関心を持った ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

3 役に立つ情報が得られた ▲

① そう思う

② ややそう思う

③ あまりそう思わない

④ そう思わない

..... ✂ ここまで改ページ

- ①必須入力
- 回答文字数制限：【500】（文字以内）

Q24

すべての方にお聞きします。
テレビCM、新聞、WEB広告、院内ビジョン、薬局ビジョン、ポスター、医療関係専門誌以外で、制度認知に有効とお考えの媒体がありましたら、ご回答ください。

★ 必須回答

文字

..... ✂ ここまで改ページ

- ①必須入力
- 回答文字数制限：【500】（文字以内）

Q25

すべての方にお聞きします。
本アンケートで扱った制度について、ご意見等ありましたら自由にご回答ください。

★ 必須回答

文字

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信